

Ⅲ 国際交流

1 県内の主な姉妹(友好)提携状況

海外の団体との姉妹(友好)提携は、国際交流を推進する有効な手法であり、富山県内においても、県、市町村をはじめ、国際交流団体、教育機関等、多数の団体が行っています。

県は、昭和59年に中国・遼寧省と、昭和60年にブラジル・サンパウロ州と、平成3年にアメリカ・オレゴン州、そして平成4年には、ロシア連邦・沿海地方と友好県省(州)の締結を行ったほか、令和6年3月現在、県内の11市町が25都市と友好提携を結んでいます。

(1) 県及び市町村の友好提携状況

団体名	提 携 先	提携年月日	提 携 の 経 緯 等	提携時の自治体名
富山県	中華人民共和国・遼寧省	1984. 5. 9	産業拠点 (廖承志中日友好協会会長の来訪)	
	ブラジル連邦共和国・サンパウロ州	1985. 7. 18	県出身者の移住	
	アメリカ合衆国・オレゴン州	1991.10.19	気候風土・自然環境の類似	
	ロシア連邦・沿海地方	1992. 8. 26	貿易・人的交流	
富山市	ブラジル連邦共和国・サンパウロ州・モジ・ダス・クルーゼス市	1979.11. 8	地元企業の進出(不二越)	
	中華人民共和国・河北省・秦皇島市	1981. 5. 7	港湾都市 (廖承志中日友好協会会長の来訪)	
	アメリカ合衆国・ノースカロライナ州・ダーラム市	1989. 6. 13	研究・産業都市・テクノポリス・リサーチトライアングル	
	オーストラリア・ニューサウスウェールズ州・ダボ・リージョナル・カウンシル (旧ウエリントンカウンシル)	1992. 8. 24	青少年海外派遣事業等での交流	大沢野町
高岡市	ブラジル連邦共和国・サンパウロ州・ミランドポリス市	1974.10.19	地元企業の進出(北陸アルミ)	
	アメリカ合衆国・インディアナ州・フォートウェーン市	1977. 4. 8	都市の類似性(産業構造・規模)	
	中華人民共和国・遼寧省・錦州市	1985. 8. 10	教育交流を機に発展	
魚津市	タイ王国・チェンマイ県・チェンマイ市	1989. 8. 8	地元企業の進出(北陸セラミック)	
氷見市	中国浙江省寧波市寧海県	2020.10.14	医療福祉の分野での短期研修受け入れ等	
	台湾高雄市鼓山区	2020.12.05	市出身実業家の鼓山区での功績(浅野総一郎)	
滑川市	アメリカ合衆国・イリノイ州・シャンバーグ市	1997. 7. 4	地元企業の進出(スギノマシン)	
黒部市	オランダ王国・フリースランド州・ストウェスト・フリースラン市	1970. 9. 10	地元企業の進出(YKK)	
	アメリカ合衆国・ジョージア州・メーコン市	1977. 5. 10	地元企業の進出(YKK)	
砺波市	トルコ共和国・ヤロバ県・ヤロバ市	1989.10. 3	チューリップの産地と原産地	
	中華人民共和国・遼寧省・盤錦市	1991. 4. 25	スポーツ・農業・議会等の相互交流	
	オランダ王国・南ホラント州・リッセ市	1992. 4. 21	チューリップを通じた相互交流	
南砺市	中華人民共和国・浙江省・紹興市	1983. 3. 21	松村謙三生誕地・周恩来原籍地	福光町
		2005. 4. 20	(南砺市として、再協定を結ぶ。)	
	ギリシャ共和国・フォキス県・デルフィ市	1986. 6. 14	演劇祭・ギリシャ悲劇(姉妹提携)	利賀村
	ネパール連邦民主共和国・ムスタン県・ツクチェ村	1989. 1. 11	そばの里と原産地(友好提携)	利賀村
		1996. 3. 23	友好提携から姉妹提携へ	
	アメリカ合衆国・ニュージャージー州・マルボロ町	2003. 5. 14	中学生派遣事業・国際交流招請事業	城端町
	中華人民共和国・浙江省・寧波市・鄞州区	2003.11.28	地元企業の進出(川田ニット) (友好交流関係締結についての協議書調印)	城端町
		2005. 4. 18	(南砺市として、再協定を結ぶ。)	
射水市	台湾・台北市士林区	2019. 7. 9	射水平野土地改良区と台北市七星農田水利会の交流	
立山町	大韓民国・ソウル特別市江北区	2005. 4. 19	町長・町議会の訪問・交流	
入善町	アメリカ合衆国・オレゴン州・フォレストグローブ市	1989. 5. 12	地元企業間の技術者交換研修プログラムの開始(富山NEC・テクトロニクス社)	
	中華人民共和国・新疆ウイグル自治区・哈密市	1997. 6. 5	特産物を通じた交流(スイカとハミウリ) 【現在休止中】	

※ 中国との提携は姉妹都市(県省)ではなく、友好都市(県省)という。

(2) その他団体の友好提携等の状況

<国際交流団体>

団 体 名	提 携 先	締結年月	提携の経緯、目的等
アジア女性支援の共	Mith Sevana障害者施設	2004.12月	障害者自立支援
国際ソロプチミスト富山	国際ソロプチミスト・ ポートランドノースエリアクラブ	1991. 9月	富山県とオレゴン州との提携
国際ソロプチミスト高岡	国際ソロプチミスト・ウェストマウイ	1993. 6.23	富山県とオレゴン州との提携
ジャパン・ワイルドライフ・ フェスティバル (JWF) 実行委員会	英国・ワイルドスクリーン アメリカ・ジャクソンホール・ワイルドライフ・ フィルム・フェスティバル (JHFFF) 国連UNEP・グローバルユースフォーラム	1992.10月 1992.10月 1992.10月	
城端国際交流協会	アメリカ・マルボロ国際交流協会	2003. 5.13	友好交流
富山インドネシア友好協会 (一社)インドネシア 教育振興会	インドネシア・ヘイワ財団 インドネシア国立イスラム大学 インドネシア・南タンゲラン市 教育局 インドネシア国立ウダヤナ大学 インドネシア国立 スルタン・アグン・ティルタヤサ大学 インドネシア国立インドネシア教育大学 インドネシア・南タンゲラン市 環境局 インドネシア・ボゴール市教育局 インドネシア・バリクパパン市教育局 インドネシア・国立 Mulawarman Kota Samarinda 大学 インドネシア国立ディボネゴロ大学 インドネシア・クバン市教育局 インドネシア・タバナン県教育局 インドネシア・西マンガライ県教育局	1987. 7. 7 2000. 1.26 2013. 5.21 2014. 5.12 2022. 2.14 2014. 6.16 2022.11.18 2016. 1.20 2016. 2.24 2017. 5. 4 2017. 5.23 2017. 5.24 2019. 9.10 2020.12.7 2021.12.17 2022. 3.1	平和と友好親善 文化・学術・人的交流 文化・学術・人的交流 文化・学術・人的交流 (再締結) 文化・学術・人的交流 (再締結) 文化・学術・人的交流 学術交流・人的交流 文化・学術・人的交流 文化・学術・人的交流 文化・学術・人的交流 文化・学術・人的交流 文化・学術・人的交流 文化・学術・人的交流 文化・学術・人的交流
富山内蒙古友好協会	中国内蒙古科学技術協会 中国内蒙古自治区中日友好協会	1990. 9. 1 1990. 9. 1	技術・貿易・経済・ 文化交流と協力 友好親善の推進、 技術・文化の交流
富山ウラジオストク会	ウラジオストク・トヤマ会	1996. 2.22	相互協力
富山外国語研究会	韓国・全北大学日語日文科 韓国・円光大学日本語教育科	1994. 6月 1994.12月	友好交流 友好交流
(一社) 富山県芸術文化協会	韓国江原道芸術文化団体総連合会 ハンガリー・クルチェ文化センター 中国遼寧省文学芸術界連合会 ドイツ・リンゲン世界子ども演劇祭	1998.12.21 1999. 3. 1 1999.11. 8 2016. 7.30	芸術文化交流の推進 芸術文化交流の推進 友好交流 演劇祭開催
富山県青年団協議会	中国・遼寧省青年連合会 ロシア青年連合沿海州委員会 ロシア・ハバロフスク ダンススポーツクラブ ファンタジア	1993.10. 7 1995.10.14 2009. 8. 7	相互理解と友誼 相互理解と友誼 ジュニア選手育成等を通じた ロシアとのダンススポーツ交流
(特非) 富山県ダンススポーツ連盟	韓国全羅南道韓日親善協会 韓国慶尚南道韓日親善協会	1983. 9.24 1993.10.18	
富山県日韓親善協会	中国遼寧省国際交流中心	2002. 2月	技能実習生受入事業
富山国際人材交流 センター協同組合	コスタリカ日本交流協会	1984. 7月	
富山ロシア協会	ロシア文化基金沿海地方代表部 沿海地方社会・文化団体「日本友好協会」	— —	
富山ルーマニア友好協会	ルーマニア国 ルーマニア・国立・イユリウ・ハツィエガヌ 医薬大学 ルーマニア・ハツィエガヌ大学 ハンガリー・ハイドゥビハール・ デブレツェン富山文化同盟	2007.11.26 2007. 3. 5 2016. 5. 8 2010.10月 1991.12.17	教育・文化・芸術・経済交流 学生交流 (再締結) ルーマニアの大学との交流
富山ハイドゥビハール・ デブレツェン友好協会	韓国慶尚北道金泉YMCA アメリカオレゴン州アルバーニー・ ミッドウィラメント・ファミリーYMCA	1994. 7月 1995. 1月	ボランティア活動等を通じた交流 ユースボランティアの相互交換
(公財) 富山YMCA	ナセル・オープンドア協会	1983年	世界の若者たちの相互理解とふれあい・質の高い教育機会の提供
ナセル文際交流協会富山支部	独日協会 (Andreas Wand)	1994. 9月 1999. 8.24	富山大学で日本文化を学ぶ ドレーズデン会員と交流
日独友好協会	ラオス・イーライ村 ラオス・ルアンパバン市	2004. 1月 2012. 1月	
南砺ラオス会	韓国江原道束草市 韓国・参与連帯	1996.10. 3 2001. 1.18	民間と行政にわたる広範囲な交流 市民活動をテーマとした、 市民・学生レベルの交流
入善町日韓親善協会 東アジア若手リーダー交流 in富山実行委員会	韓国・グローバルシビックシェアリング	2001. 1.18	市民活動をテーマとした、 市民・学生レベルの交流
富樫国際事業協同組合	大連経済開発区 五環国際労務合作有限公司 遼寧省国際交流協会 煙台国際経済技術合作集团有限公司 Thai Binh 労働貿易協力有限公司 EMICO UNG RITHY GROUP Co.,Ltd MIRAI HUMANN 大連日聯信息技術有限公司	2009. 5. 1 2011. 2. 4 2013. 7. 1 2014. 1.20 2014.10.28 2015.12. 6 2016. 8月～ 2016. 8月～	研修生・技能実習生共同受入事業 技能実習生共同受入事業 技能実習生共同受入事業・ 無料職業紹介事業 経済・労働交流 技能実習生共同受入事業・ 無料職業紹介事業 技能実習生共同受入事業・ 無料職業紹介事業 技能実習生共同受入事業・ 無料職業紹介事業

団 体 名	提 携 先	締結年月	提携の経緯、目的等
富山国際事業協同組合	遼寧国貿経済技術合作有限公司	2019. 2月～	建設就労者共同受入事業・ 無料職業紹介事業
	大連建工国際合作有限公司	2017. 8月～	技能実習生共同受入事業・ 無料職業紹介事業
	BINTANG DARMA INTAMA(BIMATAMA)	2017. 8月～	技能実習生共同受入事業・ 無料職業紹介事業
	PT.BUDI AGUNG BINATARA	2017. 8月～	技能実習生共同受入事業・ 無料職業紹介事業
	ESUHAI Co., Ltd	2012. 9月～	技能実習生共同受入事業・ 無料職業紹介事業
	HRシムコンダ株式会社	2018. 4月～	技能実習生共同受入事業・ 無料職業紹介事業
<医療>			
団 体 名	提 携 先	締結年月	提携の経緯、目的等
砺波市立総合病院	中国・黒龍江省省立病院	1979.10.31	
富山県立中央病院	中国・遼寧省人民医院	1987. 5.15	富山県と遼寧省との提携
富山市民病院	中国・河北省秦皇島市第一医院	1986. 9.23	富山市と秦皇島市との提携
真生会富山病院	中国・遼寧省大連医科大学	2014.11.26	
	中国・遼寧省瀋陽市第四人民医院	2015. 4. 8	
	中国・遼寧省瀋陽市何氏眼科病院	2018. 8. 7	
<教育機関>			
団 体 名	提 携 先	締結年月	提携の経緯、目的等
富山大学	タイ・チュラロンコン大学	2001. 3.30 2008. 3.28	学術交流、人的交流 (再締結)
	タイ・マヒドン大学	2001. 7.30 2012.10.30	学術交流、人的交流 (再締結)
	タイ・チェンマイ大学	2015.11.17	学術交流、人的交流
	インドネシア・ハサヌディン大学	2002. 3.27 2012. 7. 5	学術交流、人的交流 (再締結)
	ジェンデラル・ソディルマン大学	2023.11.24	研究者交流、学生交流、学術情報交換、 共同研究、学術会議
	ベトナム・ベトナム軍医大学	2011.10.24	学術交流、人的交流
	ベトナム・ハノイ工科大学	2017. 2.27	学術交流、人的交流
	韓国・大邱韓医大学校	2004.10. 7	学術交流、人的交流
	韓国・国民大学校	2005. 3. 7	学術交流、人的交流
	韓国・江原大学校	2016.12.16	学術交流、人的交流
	韓国・慶北大学校	2017. 3.14	学術交流、人的交流
	中国・遼寧大学	1984. 5. 9	学術交流、人的交流
	中国・瀋陽薬科大学	1985. 5.10 2011.11.10	学術交流、人的交流 (再締結)
	中国・中日友好医院	1986. 5. 7 2012.12. 7	学術交流、人的交流 (再締結)
	中国・北京大学医学部	1998. 1.23	学術交流、人的交流
	中国・大連理工大学	1999.11.11 2004.10.18	学術交流、人的交流 (再締結)
	中国・蘭州大学	1999.11.12 2004.10. 9	学術交流、人的交流 (再締結)
	中国・内蒙古医科大学	2001. 7.20 2012. 7.25	学術交流、人的交流 (再締結)
	中国・山東大学	2002. 4. 1 2016. 9. 8	学術交流、人的交流 (再締結)
	中国・上海大学	2002. 6.28 2017.11. 2	学術交流、人的交流 (再締結)
	中国・東北大学	2005. 9.12	学術交流、人的交流
	台湾・国立政治大学	2014. 4.14	学術交流、人的交流
	台湾・銘傳大学	2015. 3.21	学術交流、人的交流
	台湾・国立中央大学	2016.10.19	学術交流、人的交流
	エジプト・アシュート大学	2003. 2. 2 2008. 7.19	学術交流、人的交流 (再締結)
	アメリカ・マーレイ州立大学	2005. 9.20	学術交流、人的交流
	アメリカ・ハワイ大学マウイカレッジ	2014. 5.27	学術交流、人的交流
	アメリカ・チャールストンカレッジ	2017. 2.20 2020. 8. 7	学術交流、人的交流 (再締結)
	フィンランド・LAB応用科学大学	1997.11. 5 2008. 3.25	学術交流、人的交流 (再締結)
	ロシア・極東連邦大学	2001.12.10	学術交流、人的交流
	ロシア・ヴォンビルスク大学	2017.10.16	学術交流、人的交流
	フランス・オルレアン大学	2015. 3. 4 2020. 9. 4	学術交流、人的交流 (再締結)
	フランス・ストラスブール大学	2019. 3.25	学術交流、人的交流
	ポーランド・AGH科学技術大学	2015.10.23	学術交流、人的交流
	スロバキア・コシツェ工科大学	2015.11.19	学術交流、人的交流
	スロバキア・ジリナ大学	2015.10.20	学術交流、人的交流
	チェコ・西ボヘミア大学	2023.10.26	研究者交流、学生交流、 学術情報交換、共同研究
	チェコ・チェコ科学アカデミー	2023.10.27	研究者交流、学術情報交換、 共同研究、学術会議
	ノルウェー・UiTノルウェー北極大学	2016. 2.11	学術交流、人的交流
	ノルウェー・ノルウェー科学技術大学	2019. 2.26	学術交流、人的交流
	マレーシア・トゥンク・アブドゥル・ ラーマン大学環境技術工学部	2016. 2. 1	学術交流、人的交流
	スイス・バーゼル大学	2018. 3.20	学術交流、人的交流

団 体 名	提 携 先	締結年月	提携の経緯、目的等
	イタリア・トリノ工科大学	2021. 1.13	学術交流、人的交流
(人文学部)	ロシア・モスクワ言語大学	2013. 3.22	学術交流、人的交流
	中国・佳木斯大学外国語学院	2014. 6.19	学術交流、人的交流
	ベトナム・ハノイ国家大学外国語大学	2015.12.22	学術交流、人的交流
	ベトナム・ベトナム社会科学学院漢喃研究院	2017. 3. 1	学術交流、人的交流
(教育学部)	ロシア・ウラジオストク・ ネヴェリスキー海軍国立大学	2003. 3.27	学術交流、人的交流
	インドネシア・ウダヤナ大学文化学部	2007. 8.22	学術交流、人的交流
	インドネシア・ビナ・ヌサンタラ大学人文学部	2007.10.15	学術交流、人的交流
	タイ・コンケン大学教育学部	2015. 2.18	学術交流、人的交流
	オランダ・ライデン大学人文学部	2016.12.15	学術交流、人的交流
	スペイン・マドリード自治大学教育学部	2017. 9.15	学術交流、人的交流
		2022. 2.7	(再締結)
(教育学部附属小学校)	韓国・ソウル慶熙大校併設初等学校	2004. 3.22	学術交流、人的交流
	中国・大連海事大学附属学校	2005. 3.22	学術交流、人的交流
(教育学部附属中学校)	中国・遼寧省阜新市実験中学校	2001. 8. 2	学術交流、人的交流
(経済学部)	国立釜山大学校スクール・オブ・ ビジネス及び経営特殊大学院	2014.10.17	学術交流、人的交流
		2019.11.22	(再締結)
	韓国・京畿大学校経商学部	2016. 4.19	学術交流、人的交流
	韓国・京畿大学校人文社会学部	2016. 4.19	学術交流、人的交流
	中国・人民大学公共管理学院	1996.12.10	学術交流、人的交流
		2004.10. 9	(再締結)
	中国・西南交通大学交通運輸物流学院	2007. 8.20	学術交流、人的交流
		2011.10.30	(修正)
	中国・中南林業科技大学経済学院	2009. 6.25	学術交流、人的交流
		2011. 2.11	(修正)
	中国・中南林業科技大学商学院	2016.11.28	学術交流、人的交流
	中国・南開大学日本研究院	2013. 3.15	学術交流、人的交流
	中国・内モンゴ大学経済管理学院	2013. 8. 1	学術交流、人的交流
	台湾・開南大学商学院	2013. 6.25	学術交流、人的交流
	台湾・開南大学人文社会学院	2013. 6.25	学術交流、人的交流
(芸術文化学部)	チェコ・ブラハ美術工芸大学	2008.12.15	学術交流、人的交流
		2012. 8. 8	(修正)
	スウェーデン・カペラゴードン 美術工芸学校	2009. 5.20	学術交流、人的交流
		2012. 9.25	(修正)
(都市デザイン学部)	タイ・パタナシン芸術大学	2012. 1.19	学術交流、人的交流
	中国・中国石油大学(北京)理学院	2015. 1.20	学術交流、人的交流
	中国・昌吉学院物理系	2016. 7.26	学術交流、人的交流
	オーストラリア・ニュー・サウス・ウェールズ大学 キャンベラキャンパス	2002.12. 2	学術交流、人的交流
		2012.10.23	(再締結)
	オーストラリア防衛大学校理学部		
	アメリカ・アラスカ大学フェアバンクス校 国際北極圏研究センター	2019.3.18	学術交流、人的交流
	オーストリア・ウィーン工科大学土木工学部	2019.10.30	学術交流、人的交流
	ポーランド・ポーランド科学アカデミー 冶金・材料科学研究所	2013. 9.23	学術交流、人的交流
	ポーランド・ヴロツワフ科学技術大学	2016.11.21	学術交流、人的交流
(理学部)	マレーシア・モナッシュ大学 医学健康科学部	2016. 7.20	学術交流、人的交流
	バングラデシュ・ジャハングルナガル 大学数物系科学部	2013. 4. 2	学術交流、人的交流
	インドネシア・パランカラヤ大学農学部	2013. 7.31	学術交流、人的交流
	ドイツ・ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン 化学・薬学部化学科	2018.11.16	学術交流、人的交流
	フランス・レンス第一大学 物質構造物性学部	2018.11.27	学術交流、人的交流
(工学部)	中国・大連交通大学	2005. 2.25	学術交流、人的交流
	中国・西南交通大学 牽引動力国家重点実験室	2005. 2.25	学術交流、人的交流
	中国・中南林業科技大学材料科学工学部	2024.1.29	研究者交流、学生交流、 共同研究、学術会議、学術情報交換
	バングラデシュ・ラジシャヒ工科大学	2018. 2.28	学術交流、人的交流
	マレーシア・マラ工科大学機械工学部	2013. 2.22	学術交流、人的交流
	マレーシア・トゥン・フセイン・オン マレーシア大学電気電子工学部	2018. 5.11	学術交流、人的交流
	アメリカ・バージニア大学 工学・応用科学部	1999.12. 8 2004. 6.23	学術交流、人的交流 (再締結)
	ロシア・ロシア科学アカデミー極東支部 自動制御プロセス研究所	2003.12.22	学術交流、人的交流
	ポーランド・ワルシャワ工科大学 電子情報工学部	2015.10.26	学術交流、人的交流
	アルバニア・ティラナ工科大学 機械工学部	2013. 2.15	学術交流、人的交流
(医学部)	韓国・忠南大学校医科大学	2006. 1.12	学術交流、人的交流
		2021. 7. 30	(再締結)
	韓国・亜州大学医学部・大学院	2007.10.24	学術交流、人的交流

団 体 名	提 携 先	締結年月	提携の経緯、目的等
	中国・重慶医科大学	2006. 3.15 2016.12.10	学術交流、人的交流 (再締結)
	中国・ハルビン医科大学	2011. 5.13 2016.12.20	学術交流、人的交流 (再締結)
	中国・威海市立病院	2019.11.28	学術交流、人的交流
	モンゴル・モンゴル国立医科大学	2010. 6. 7 2015. 6. 7	学術交流、人的交流 (再締結)
	ブラジル・ブラジリア大学生物学研究所	2010.11.15 2015.10.21	学術交流、人的交流 (再締結)
	アメリカ・ハワイ大学マノア校 ジョンA. バーンズ医学部	2011.11.16 2019. 2.27	学術交流、人的交流 (再締結)
	ベトナム・ハノイ医科大学	2013. 6.27 2019. 2.15	学術交流、人的交流 (再締結)
	ドイツ・ルール大学ボーフム医学部附属 パートューンハウゼン心臓・糖尿病センター 胸部・心臓血管外科	2014. 8.26	学術交流、人的交流
	英国・ロンドン大学ユニバーシティカレッジ 「社会と健康」国際研究センター	2004. 9. 8 2023. 6.19	研究者交流、学生交流、共同研究、 学術会議、学術情報交換(再締結)
(薬学部)	韓国・慶熙大学校薬学大学	2012. 2.10	学術交流、人的交流
	アメリカ・南カリフォルニア大学薬学部	2000. 4月 2021.10.12	学術交流、人的交流 (再締結)
	アメリカ・アメリカ健康科学大学薬学部	2020. 2. 4	学術交流
	アイルランド・ダブリン大学 トリニティカレッジ薬学部	2010. 6.28	学術交流、人的交流
(和漢医薬学総合研究所)	韓国・ソウル大学校薬学大学 天然物科学研究所	1998.10. 1 2016.11. 8	学術交流、人的交流 (再締結)
	韓国・世明大学校保健バイオ大学	2019. 4.23	学術交流、人的交流
	インドネシア・ガジャマダ大学薬学部	2022.11. 2	学術交流、人的交流
	エジプト・カイロ大学薬学部	2001. 6.18 2011. 4.27	学術交流、人的交流 (再締結)
	タイ・コンケン大学薬学部	2003.11.14 2021. 7.20	学術交流、人的交流 (再締結)
	タイ・ウボンラチャタニ大学薬学部	2017. 1.25	学術交流、人的交流
	台湾・国立嘉義大学生命科学院	2016. 5.19	学術交流、人的交流
	中国・南京中医薬大学薬学院	2002.10.27 2012. 8.16	学術交流、人的交流 (再締結)
	中国・広西中医薬大学薬学院	2018. 5.15	学術交流、人的交流
	ベトナム・国立薬物研究所	2009.10.27 2014.11. 7	学術交流、人的交流 (再締結)
	ベトナム・フエ大学医学薬学部	2014. 6. 3	学術交流、人的交流
	ベトナム・ホーチミン医科薬科大学 伝統医学部	2018. 7. 9	学術交流、人的交流
	ベトナム・カントー大学自然科学部	2018. 8.27	学術交流、人的交流
	モンゴル・モンゴル国立大学 応用科学工学部	2004. 3.30 2012. 9.21	学術交流、人的交流 (再締結)
	ミャンマー・ヤンゴン大学化学部	2016. 2.15 2020.12.30	学術交流、人的交流 (再締結)
(サステイナビリティ国際研究センター)	中国・吉林大学東北アジア研究院	2003. 6.18	学術交流、人的交流
	中国・中国農業大学経済管理学院	2003. 7. 1	学術交流、人的交流
	中国・中国科学院江西省千煙洲 紅壤丘陵総合開発試験站	2004. 2.20	学術交流、人的交流
	中国・吉林農業大学管理学院	2004. 3. 1	学術交流、人的交流
	中国・復旦大学中国社会主義 市場経済研究センター	2005. 6.12	学術交流、人的交流
	中国・東北財経大学 経済・社会発展研究院	2006. 6.15	学術交流、人的交流
	中国・中国科学院長白山 森林生態系研究ステーション	2007. 2. 8	学術交流、人的交流
	エストニア・エストニア生命科学大学 農業環境 科学研究所	2024. 2. 9	共同研究、学術会議
	ロシア・ロシア科学アカデミー シベリア支部経済工業生産組織研究所	2003. 7. 3	学術交流、人的交流
	ロシア・ハカシア国立大学	2003.10.29	学術交流、人的交流
	ロシア・ロシア科学アカデミー 極東支部経済研究所	2004. 7. 9	学術交流、人的交流
	ロシア・ロシア科学アカデミー社会政治 研究所社会人口学・経済社会学センター	2010. 3.16	学術交流、人的交流
	ロシア・極東国立農業大学	2011. 7.15	学術交流、人的交流
	ロシア・ロシア科学アカデミー極東支部 地質・自然管理研究所	2012. 8.17	学術交流、人的交流

団 体 名	提 携 先	締結年月	提携の経緯、目的等
(水素同位体科学研究センター)	ロシア・サンクトペテルブルク国立経済大学 グレーターユーラシア研究所	2019. 2.27	学術交流、人的交流
	ロシア・サンクトペテルブルグ・ ボンシェブリエビッチ通信大学	2002.12.18	学術交流、人的交流
	韓国核融合エネルギー研究所ITER韓国	2014.11.17 2019.10.29	学術交流・人的交流 (再締結)
富山県立大学	中国・中国瀋陽化工大学	2011. 1.11 2016. 1.11 2017. 8.30 2021. 1.11	学術交流・学生交流 (再締結) (学生交流協定改定) (再締結)
	中国・尊州省遵義医科大学	2015. 6.17	学術交流・学生交流
	スイス・バーゼル大学	2018. 3.20	学術交流・学生交流
	中国医科大学	2022. 6.30	学術交流
	ポートランド州立大学	2023. 2. 9	学術交流
	タイ・チュラロンコン大学	2023.8.24	学術交流、学生交流
	マレーシア国民大学	2023.8.30	学術交流
	スリランカ・ウバウエラッサ大学	2023.9.11	学術交流
	中国・浙江科技学院	2014.12.24	学術交流・学生交流
	ベトナム・ホーチミン市工科大学	2013. 1. 9	学術交流
(工学部/工学研究科)	タイ・プリンス・オブ・ソンクラ大学	2005. 8. 1	学術交流・学生交流
	タイ・カセサート大学	2019.11.30	学術交流・学生交流
	インドネシア・タデラコ大学	2011. 9.16 2017.11.14 2022. 7.28	学術交流 (再締結) (再締結)
	インドネシア・ディボネゴロ大学	2018.12.18 2023.12.18	学術交流・学生交流 (更新)
	インドネシア・インドネシア大学	2018.12.31	学術交流・学生交流
	アメリカ・アラスカ大学理工学部 地球物理研究所	1998.10. 9	学術交流
	ドイツ・ビーレフイルド大学	2014. 8.11	学術交流・学生交流
	タイ・チェンマイ大学	2023.12.8	学術交流
	(工学部/医薬品工学科)		
	(看護学部)		
富山国際大学	タイ・チェンマイ大学	2023.11.6	学術交流
	韓国・聖公会大学	2005. 3.22 2017. 3. 1	文化学術交流 (再締結)
	韓国・大邱大学校	2016. 5.30	学術交流、学生の交換留学
	韓国・大邱韓医大校	2017. 1.14	学術交流及びダブルディグリーの協定
	中国・天津社会科学院	2000. 9.27	教育交流
	中国・天津国際言語文化進修学院	2000. 9.27	教育交流
	中国・中国海洋大学	2004. 7. 1	学術交流及びダブルディグリーの協定
	中国・大連海洋大学	2006. 9.12	学術交流及びダブルディグリーの協定
	中国・遼寧師範大学 歴史文化旅游学院	2010.12. 2	教育・学術交流
	中国・黒竜江省鶴崗師範専科学校	2011. 9.26	教育・学術交流
	中国・南通大学	2013.12.31 2015. 8.29	外国人私費留学生受入 (再締結)
	中国・ハルビン理工大学(栄成学院)	2014. 5.14	学術交流及びダブルディグリーの協定
	中国・鞍山師範学院	2016. 6. 6	学術交流及びダブルディグリーの協定
	中国・信陽師範学院	2019. 1.31	学術交流及びダブルディグリーの協定
	中国・瀋陽師範大学	2019. 9. 5	学術交流及びダブルディグリーの協定
	タイ・ファー・イースタン大学	2008. 2.18	学術交流、交換留学
	タイ・ラーチャモンコン工科大学	2017. 5. 1	学術交流、交換留学
	フィリピン・フィリピンセントラル大学	2018. 1.31	学術交流、交換留学
	アメリカ・ポートランド州立大学	1999. 2.10 1999. 2.22 2022. 6.15	学術交流、交換留学 セミスターアブロードプログラムの実施 (修正)
	アメリカ・ミズーリ州立大学	2019. 5.16	受入協定
	カナダ・レスブリッジ大学	2016. 5.31	学術交流、交換留学
	ロシア・ウラジオ国立経済サービス大学	2005.10.12	学術交流、交換留学
	オーストラリア・ラ・トロブ大学	1997. 4.20 2004. 4.20	文化学術交流、学生交換留学 交換留学
	オーストラリア・サザンクロス大学	2013. 2. 6	学術交流、学生の交換留学
	英国・サセックス大学	2019. 3.14	受入協定
	フランス・EMBA(Ecole de Management Bretagne Atlantique) (旧:ISUGA)	2002. 7.15 2014. 6. 5	学術交流及び学生交換 (再締結)
	マルタ共和国・マルタ大学	2017.12.11	学術交流、交換留学
	ウクライナ・国立オデッサ大学	2018. 5.21	学術交流
	日本国際飢餓対策機構	2020.10.20	教育・文化交流
(付属高等学校)	韓国・大田外国語高校	2017. 8. 4	姉妹校
	中国・北京・潞河中学	2014. 1.21	姉妹校交流

団 体 名	提 携 先	締結年月	提携の経緯、目的等
	中国・香港・King Ling College	2018.12.14	姉妹校交流
	タイ・Pratumnak Suankularb School	2016. 7.26	姉妹校
	ニュージーランド・オークランド市 セルウィン・カレッジシニアスクール	1990. 6. 9	文化・友好交流（現在休止中）
	ニュージーランド・バ克蘭ガ・カレッジ	2006. 4月	姉妹校
	オーストラリア・Bishop Druitt College	2014. 3.17	姉妹校
	オーストラリア・Hills College	2017. 1.30	姉妹校交流
	アメリカ・Chesterton High School	2016.12.12	姉妹校
	アメリカ・Sheridan Japanese School	2019. 7.20	姉妹校（富山県とオレゴン州との提携）
富山短期大学	アメリカ・ワシントン州 ベルビュー・コミュニティカレッジ	1989.11.15	（休止中）
富山福祉短期大学	モンゴル国立老年医学センター	2018. 4.14	学術交流、人的交流
富山高等専門学校	韓国・慶熙大学工学部	2010.12.20	学術交流
	中国・東北大学	2003.12. 1	学術交流
	台湾・長庚大学医学物理研究センター	2019. 7.18	学生の相互交流
	シンガポール・テマセク・ポリテクニク	2011.12.13	教員、学生の交流
		2023. 5. 6	（更新）
	シンガポール ナンヤン・ポリテクニク	2013. 5. 2	教員、学生の交流
		2019. 5. 2	専門技術、知識、情報の共有
		2022. 5. 2	（再締結）
	タイ・キングモンクット工科大学ラカバン校	2013. 8.23	教員、学生の交流
		2023.9.1	（更新）
	タイ・ランブーン農業技術カレッジ	2015. 8.31	学生の相互交流
		2020. 8.31	（再締結）
	タイ・カセサート大学	2023.7. 6	教職員、学生の交流
	マレーシア・マラ工科大学	2024. 3. 17	教職員、学生の交流
	カナダ・ビクトリア大学	2005. 6.29	学生の交流
	イングリッシュランゲージセンター		
	カナダ・バンクーバーアイランド大学付属高等 学校（旧マラスピナ高等学校）	2006.10.25	教育・文化交流
	アメリカ・ハワイ大学	2010.11.29	学術交流 5商船系高専包括協定
	カウアイコミュニティカレッジ(KCC)	2023. 1.23	（再締結）
	北アイルランド・バリークレア中高等学校	2006.10.29	教員、学生の交流（現在休止中）
滑川高等学校	北アイルランド・ South Eastern Regional College(SERC)	2012.12.20	
	ハンガリー科学アカデミー応用物理材料科学	2015. 1.27	教員、学生の交流
		2020. 1.27	（再締結）
	ハンガリー・バズマニー大学	2015. 2.18	教員、学生の交流
	ハンガリー・ブタベスト工科経済大学	2015. 6.11	教員、学生の交流
		2020. 6.11	（再締結）
	フィンランド・ヴァーサリェセオ高等学校	2017.12.11	学生の相互交流
		2023. 2.28	（再締結）
	韓国・仁川海洋科学高等学校	2011. 8.26	友好交流
	カナダ・アルバータ州 カムローズ市コンボズイット高等学校	1991. 4. 6	富山市（旧大山町）と カムローズ市の交流（現在休止中）
富山西高等学校	アメリカ・オレゴン州 グresham市サムバーロー高等学校	2004.11. 5	教育・文化交流
富山高等学校	中国・遼寧省海城市高級中学校	1986. 5. 8	富山県と遼寧省との提携
富山中部高等学校	中国・東北育才学校	1999. 5. 2	富山県と遼寧省との提携
富山工業高等学校	アメリカ・ニュージャージー州 サミット市サミット高等学校	1988.11.10	国際教育交換協議会（CIEE）仲介
	アメリカ・ノースカロライナ州 ダーラム市ノーザン高等学校	1991. 8月	富山市の仲介
小杉高等学校	アメリカ・インターナショナル・スクール・オブ・ ビーバートン (ISB)	2013.12. 3	友好交流
新湊高等学校	オーストラリア・ビクトリア州 ノーブルパーク・セカンダリーカレッジ	1995.11.20	国際理解・生徒の交流
	台湾・百齡高校	2023.2	国際理解・生徒の交流
高岡工芸高等学校	アメリカ・インディアナ州 フォートウェーン市キャロル高等学校	2010. 9. 1	高岡市とフォートウェーン市の提携
高岡商業高等学校	アメリカ・インディアナ州 フォートウェーン市スナイダー高等学校	1982. 1. 8	高岡市とフォートウェーン市の提携
	韓国・大邱商業高等学校	1990. 5. 7	教育・文化交流
	韓国・慶尚女子高等学校	1990.12.10	教育・文化交流
	中国・新北市立樹林高級中学	2012.12.12	スポーツ・文化交流
	台湾・桃園県立寿山高級中学	2012.12.12	スポーツ・文化交流
伏木高等学校	アメリカ・フォートウェーン市ビショップ・ルアーズ 高等学校	1988. 8.24	教育・文化交流
	中国・遼寧省大連市第十二中学	2006.12.21	教育交流・生徒の交流
	韓国・清明高等学校	2007. 3.25	教育交流・生徒の交流
	ロシア・ガルモニア校	2007.10. 4	教育交流・生徒の交流
小矢部園芸高等学校	中国・浙江省紹興市農業科学研究所	1991. 2.28	教育・文化交流
高岡向陵高等学校	アメリカ・インディアナ州 フォートウェーン市ノースサイド高等学校	1982. 9.22	高岡市とフォートウェーン市の提携
	中国・大連市大連第八中学校	1985. 3.11	友好交流
高岡第一高等学校	中国・遼寧省錦州市錦州高級中学校	1984. 5.24	
	カナダ・サスカチュワン州サスカトゥーン市教育 委員会	1992年	

団 体 名	提 携 先	締結年月	提携の経緯、目的等
高岡龍谷高等学校	韓国・大邱培英女子高等学校	1987. 3.13	友好交流
富山第一高等学校	オーストラリア・ビクトリア州 レオンガサ・セカンダリーカレッジ	1992年	教育研修・国際理解
	アメリカ・カリフォルニア州 パロス・バーデス・ベニンシュラ	2014.12. 1	教育研修・国際理解
	台湾・台中市立中港高級中学	2017. 2.21	プレゼンテーション活動、友好交流
新川高等学校	韓国・廣文高等学校	1997. 3.10	友好交流
片山学園中学校高等学校	オーストラリア・The Kooralbyn International School	2000. 4.1	姉妹校提携
	オーストラリア・Dromana College	2015. 7.30	学校間交流
射水市立奈古中学校	中国・遼寧省実験中学校	1986. 5. 7	富山県と遼寧省との提携
南砺市立福光中学校	中国・浙江省文瀾中学校	2008. 2.29	学生交流
南砺市立利賀中学校	ギリシャ共和国・デルフィ中学校	2019.2月	
富山市立東部中学校	中国・鞍山第二中学校	1999年	
	韓国・馬山第一女子中学	1999年	
富山市立上滝中学校	カナダ・アルバータ州 カムローズ市コンボジット高等学校	1991. 4. 6	富山市(旧大山町)と カムローズ市との交流
黒部市立中央小学校	アメリカ・ジョージア州 マキビンレーン小学校	1992. 1.28	教育・文化交流
高岡市立博労小学校	アメリカ・インディアナ州 フォートウェーン市アーリントン小学校	1981年	
高岡市立平米小学校	中国・遼寧省瀋陽市和平第一小学校	1986. 5. 7	富山県と遼寧省との提携
高岡市立福岡小学校	中国・遼寧省遼陽県首山鎮中心小学校	1999. 6.28	友好交流
氷見市立朝日丘小学校	UNESCO Associated Schools Network	2011. 1.11	
富山市立西田地方小学校	中国・遼寧省瀋陽市実験小学校	1986. 5. 7	富山県と遼寧省との提携
富山市立岩瀬小学校	ロシア・ウラジオストク51番小学校	1991年	
立山町立立山芦嶺小学校	ネパール国・クムジュンスクール	1991.11.12	友好交流
	中国・浙江省紹興市文瀾中学校	2008. 2.29	友好交流
富山文化服装専門学校	英国・ウェストディーンカレッジ	1977. 2. 6	教授、学生の交流、
富山市立 富山外国語専門学校	アメリカ・カリフォルニア州 フットヒル・カレッジ	1991. 6.20	学生の交流、研究資料の交換
富山国際学院	ロシア・ウラジオストク市 こどもクラブ「ヴィクトリア」	2001. 4. 1	子供たちの交流
	アースビジョン教育機関	2006. 4. 1	日本留学を目指す学生に 対する日本語教育
	イーストウエスト日本語センター	2006. 4. 1	日本留学を目指す学生に 対する日本語教育
	ベトナム・ハノイ海外研修機関	2006. 4. 1	日本留学を目指す学生に 対する日本語教育

<その他>

団 体 名	提 携 先	締結年月	提携の経緯、目的等
富山県議会	中国・遼寧省人民代表大会	2004. 5.19	富山県と遼寧省の提携
(公社)とやま観光推進機構	中国・遼寧省旅遊協会	2002.11.25	
	台湾・台湾観光協会	2018. 5.31	
富山県機械工業センター連合会	韓国・ソウル温産産業団地管理公団	1973. 8.24	技術交流(姉妹団地)
(公社)日本吹奏楽指導者協	韓国・韓国管楽隊指導者協会	1974.10.15	
富山神通ライオンズクラブ	韓国・釜山花朗ライオンズクラブ	1978.11.27	国際親善
富山昭和ライオンズクラブ	韓国・釜山忠義ライオンズクラブ	1988. 3.24	
大山ライオンズクラブ	台湾・台北県中正国際獅子会	1981. 2.22	相互理解
入善ライオンズクラブ	台湾・埔里国際獅子会	1989. 2.21	
黒部ライオンズクラブ	台湾・草屯国際獅子会	1975. 5.23	相互理解・国際親善
富山ロータリークラブ	ベルギー・ビーエルゼロータリークラブ	1981. 8. 2	
富山みらいロータリークラブ	オーストラリア・ケントホースト ロータリークラブ	2001. 3.13	
富山シティロータリークラブ	タイ・バンコクスリウォンロータリークラブ	2011. 2月	
富山西ロータリークラブ	韓国・光州忠壮ロータリークラブ	1992. 5月	
高岡西ロータリークラブ	台湾・花蓮ロータリークラブ	1981.10.28	
黒部ロータリークラブ	オランダ・スネーク市ロータリークラブ	1984. 5.22	黒部市とスネーク市の提携
砺波ロータリークラブ	トルコ・YALOVAロータリークラブ	1995. 9.10	友好クラブ締結
入善ロータリークラブ	韓国・釜谷聖知ロータリークラブ	1986. 6.15	
		2012. 2.25	(再締結)
	アメリカ・オレゴン州 フォレストグロブロータリークラブ	1989年 1990. 5.28	入善町とフォレストグロブ市の提携 (修正)
魚津ロータリークラブ	韓国・釜谷釜一ロータリークラブ	1995. 4.23	創立40周年記念事業
北日本放送	ロシア・ウラジオストク太平洋放送公社	1991.12.17	放送協力
	アメリカ・オレゴン州KGW-TV	1992.11.11	放送協力
	ロシア・ヴァストークテレビ(V. T. V)	1995. 8.11	放送協力
富山テレビ	中国・遼寧省遼寧電視台	1984. 9.28	富山県と遼寧省の提携
	中国・陝西省陝西電視台	1994.10. 3	合作強化
	中国・遼寧省大連電視台	1998.11.12	富山県と遼寧省の提携
チューリップテレビ	アメリカ・オレゴン州KOIN-TV	1992. 5.28	放送協力
	アメリカ・インディアナ州WANE-TV	1992. 1.27	放送協力
富山・北國新聞社	ブラジル・サンパウロ州ニッケイ新聞社	1993.10.25	放送協力
北陸銀行	中国・大連市対外貿易経済合作局	2004.10.10	経済交流
	中国・蘇州国家高新区管理委員会	2007. 6. 8	経済交流
	中国・江蘇省無錫市対外貿易経済合作局	2009.12. 3	経済交流
	中国・江蘇省蘇州市昆山市商務局	2010. 4.23	経済交流
	インドネシア・バンク・ネガラ・インドネシア	2011. 4.26	業務協力提携
	中国・紹興市人民政府	2011. 8.12	経済交流覚書締結
	中国・上海銀行	2011.11.26	業務協力提携
ほくほくフィナンシャルグループ	中国・上海市対外経済貿易員会	2006. 4. 4	経済交流

団 体 名	提 携 先	締結年月	提携の経緯、目的等
	中国・遼寧省対外貿易経済合作庁	2006. 9.20	経済交流
	中国・瀋陽市対外貿易経済合作局	2006. 9.20	経済交流
	中国・広東省投資促進局	2008. 2.29	経済交流
	中国・浙江省寧波市対外貿易経済合作局	2009. 2.27	経済交流
	中国・中国国貿促大連市分会	2010. 6. 9	経済交流
北陸電力	スウェーデン・シドクラフト社	1988. 9.29	技術交流
	台湾・台湾電力公司	1990.10. 1	技術交流
	ロシア・沿海地方ダリエネルゴ社	1993. 7.23	技術交流
	中国・国家电网公司	1997. 2.19	技術交流
	中国・東北電網有限公司	1999.10.18	技術交流
	中国・遼寧省電力有限公司	1999.10.19	技術交流
伏木富山港	中国・大連港	1985. 5. 6	富山県と遼寧省の提携
	ロシア・ウラジオストク商業港	1992. 8.25	両港間の交流の一層の促進
県中央植物園	中国・昆明植物研究所	1996. 4.26	植物に関する学術交流
	英国・オックスフォード大学植物園・樹木園	2018. 6. 7	植物に関する学術交流の強化
富山空港	ロシア・ウラジオストク空港	1991. 7.14	定期航空路の開設
	中国・大連周水子国際空港	1999.10.12	定期航空路の開設
玄士社 移山書会	中国・遼寧省瀋陽市瀋河区少年宮	1984.11月	書道交流
	韓国・釜山忠義ライオンズクラブ	1988. 3.23	
(公社)富山青年会議所	中国・香港太平山青年商会	1980.11.12	
	アメリカ・オレゴン州ポートランド青年会議所	1992. 6.24	経済交流
	韓国・西江青年会議所	1994. 4. 3	スポーツ交流
(公社)高岡青年会議所	韓国・大邱寿城青年会議所	1991. 5.16	友好交流による相互理解
(公社)となみ青年会議所	アメリカ・カリフォルニア州 サンマテオ青年会議所	1988. 8.19	
(公社)射水青年会議所	台湾・彰化市中正国際青年商会	1990. 2. 3	文化・経済交流
	韓国・西仁川青年会議所	1992. 5.23	文化・経済交流
	シンガポール・羅花女青商会	1997.11.19	文化・経済交流
日本労働組合総連合会	中国・遼寧省総工会	1990. 9. 5	経済・労働交流
	ロシア・沿海地方労働組合	1994. 4. 5	経済・労働交流
砺波郵便局	トルコ・ヤロバ郵便局	1990. 6.13	相互理解
黒部郵便局	アメリカ・ジョージア州 メーコン市中央郵便局	1990.10. 9	黒部市とメーコン市の提携
射水平野土地改良区	台湾・七星農田水利会	2005. 2. 5	友好親善・技術交流
黒部川左岸土地改良区	台湾・屏東農田水利会	1991. 8.23	友好親善・技術交流
IOX-AROSAスキー場	スイス・アローザスキー場	1991. 9. 8	
富山県バドミントン協会	中国・遼寧省バドミントン協会	1992.11. 2	バドミントンの技術交流
トナミ運輸㈱バドミントン部	韓国・唐津郡庁バドミントンチーム	1998. 1月	バドミントンの技術交流
マリエとやま	アメリカ・オレゴン州バイオニア・プレイス	1993. 1.17	富山県とオレゴン州の提携
富山商工会議所	中国・中国国際商会大連商会	2006.10. 4	経済交流
高岡商工会議所	アメリカ・インディアナ州フォートウェーン市 フォートウェーン商工会議所	1994. 7. 8	経済交流
射水商工会議所	韓国・仁川商工会議所	2004. 6.24	経済交流の促進
日ロ友好北陸労組 連絡会議(北陸3県)	ロシア・沿海地方労働組合協議会	1994. 4. 5	
富山アイスホッケー連盟	ロシア・ウラジオストク市 アイスホッケー委員会	1994. 9月	アイスホッケー交流
魚津市日中友好協会	中国・蓬萊市対外友好協会	2006. 6.29	友好交流
高岡カントリー倶楽部	中国・大連金石ゴルフ倶楽部	2006.10.18	ゴルフ倶楽部の友好業務提携
(一社)富山県薬業連合会	イタリア経団連カターニア支部	2013. 2.28	経済交流
	イタリア製薬工業会	2013. 3. 7	経済交流
	インド製薬工業協会	2013.10.25	経済交流
	インドネシア医薬関連企業協会	2013.11.11	経済交流
	マレーシア製薬協会	2018. 4.25	経済交流
	ミャンマー医薬品・医療機器事業者協会	2018. 5.30	経済交流
	台湾・(財)医薬工業技術発展センター	2018. 5.31	経済交流
	中国・遼寧省総工会	1990. 9.15	組織の相互理解と交流
連合富山	ロシア・沿海州労働組合	2018. 7.30	北陸ブロックの連合組織の交流と子ども代表の交流

2 富山県の協定等締結状況

県では、さまざまな国や地域と交流・協力等に関する協定等を締結しており、今後も経済・貿易をはじめ、さまざまな分野での相互交流が期待されています。

部	海外自治体・機関等	締結年月日	協定等の名称
生活環境文化部	中華人民共和国・遼寧省	1984. 5. 9	日本国富山県と中華人民共和国遼寧省との友好県省締結協定書
		2009. 5.17	日本国富山県と中華人民共和国遼寧省の互恵協力と共同発展のための協定書
		2014.10.19	日本国富山県と中華人民共和国遼寧省の交流・協力関係の深化のための協定書
		2018.8. 6	日本国富山県と中華人民共和国遼寧省の交流と協力の深化に関する覚書
		2018.4.2	日本国富山県と中華人民共和国遼寧省との揮発性有機化合物(VOC)削減技術普及のための協力事業の実施に関する覚書
	ブラジル連邦共和国サンパウロ州	1985. 7.18	日本国富山県とブラジル連邦共和国サンパウロ州との友好提携協定
	アメリカ合衆国・オレゴン州	1991.10.19	日本国富山県とアメリカ合衆国オレゴン州との友好県州締結協定書
		2022.8.4	経済分野等における交流と協力に関する覚書
	ロシア連邦・沿海地方	1992. 8.26	日本国富山県とロシア連邦沿海地方との友好提携協定書
		2017. 7. 7	日本国富山県とロシア連邦沿海地方の貿易・経済、人的及び文化交流・協力のための協定書
	大韓民国・江原特別自治道	1993. 2.10	日本国富山県と大韓民国江原道との間の文化芸術及びスポーツ分野の交流協力に関する議定書
		2023.11.3	富山県と江原特別自治道の友好交流と協力に関する協定書
	インド共和国 アンドラプラデシュ州	2015.12.11	日本国富山県とインド共和国アンドラプラデシュ州の交流・協力に関する覚書
		2015.12.28	覚書に基づく確認書
	台湾 澎湖県探索未来発展協会	2019.5.24	富山マラソンと菊島澎湖跨海マラソンとの友好提携に関する協定書

部	海外自治体・機関等	締結年月日	協定等の名称
地方創生局	中華人民共和国・広東省	2010. 5.10	日本国富山県と中華人民共和国広東省との間の観光協力・交流協定書
厚生部	スイス連邦 バーゼル・シュタット州	2009.10.26	日本国富山県知事のスイス連邦バーゼル・シュタット州訪問に際する医薬品分野に関する宣言
		2018.8.24	日本国富山県とスイス連邦バーゼル・シュタット州との医薬品分野などの交流に関する協定書
	スイス連邦 バーゼル・ラントシャフト州	2009.10.27	日本国富山県とスイス連邦バーゼル・ラントシャフト州との間の医薬品分野の交流協力に関する協定書
		2018.8.24	日本国富山県とスイス連邦バーゼル・ラントシャフト州との医薬品分野などの交流に関する協定書
商工労働部	台湾 財団法人台湾デザインセンター	2016. 8.10	富山県総合デザインセンターと財団法人台湾デザインセンターとの連携に関する覚書
	タイ王国・工業省	2014.12.19	タイ王国工業省と日本国富山県のパートナーシップに関する覚書
	ベトナム社会主義共和国 計画投資省	2022.12.19	富山県とベトナム社会主義共和国計画投資省との経済交流の強化に関する覚書
農林水産部	香港・貿易発展局	2017. 2.14	富山県と香港貿易発展局の相互協力に関する覚書
	中華人民共和国・雲南省 中国科学院昆明植物研究所	1996. 4.26	日本国富山県中央植物園と中華人民共和国中国科学院昆明植物研究所との友好提携に関する協定書
	中華人民共和国・雲南省 中国科学院昆明植物研究所	2000.10.13	日本国富山県中央植物園と中華人民共和国中国科学院昆明植物研究所との共同研究に関する合意書
	英国・オックスフォード大学 植物園・樹木園	2018. 6. 7 (2023.6.7更新)	富山県中央植物園とオックスフォード大学植物園・樹木園との友好提携に関する覚書
土木部	中華人民共和国・遼寧省 大連港口管理局	1985. 5. 8	日本国伏木富山港と中華人民共和国大連港との友好港提携協議書
	ロシア連邦 ウラジオストク商業港株式会社	2017. 7. 7	日本国伏木富山港とロシアウラジオストク商業港との新たな友好提携に関する協定書
教育委員会	中華人民共和国・遼寧省	1994.11.25	富山県・遼寧省スポーツ相互交流に関する協定書

3 中国(遼寧省等)との交流

(1) 遼寧省との交流

① 遼寧省との友好提携の経緯

1979 年(昭和 54 年) 5 月、廖承志(りょう しょうし) 中日友好協会長(故人) を団長とする中国の各界代表者が、中日友好の船「明華号」で来県した際、一行の中に遼寧省代表が含まれており、県内各地で交流・交歓を行いました。同年 7 月には、本県から第 9 回「青年の船」が中国を訪れ、遼寧省を中心に各地で友好親善を深めました。

両県省は、その後密接な交流を続け、1982 年(昭和 57 年) 10 月、知事を団長とする第 12 回「青年の船」が再び遼寧省を訪れた際、友好県省の締結が提案され、1984 年(昭和 59 年) 5 月 9 日に全樹仁(ぜん じゅじん) 省長(故人) 以下 8 名の代表団を富山県に迎えて友好県省が締結されました。

② 遼寧省との交流の広がり

両県省においては、友好提携以来、各種友好訪問団の相互派遣や、職員・留学生の相互派遣、工業、農業、水産業、医学、港湾等の技術研修員の受入れ、奨学金の支給、環境、スポーツ、文化、学校、観光などの幅広い分野にわたる活発な交流が行われています。

また、友好県省締結を機に、県省双方の市、医療機関、教育機関、民間団体・企業等の間で友好関係が結ばれるなど、全県省が一体となった交流が積極的に行われています。

2014 年(平成 26 年) 10 月には、友好県省締結 30 周年を記念して、友好代表団を派遣し、交流・協力関係の深化のための協定書を取り交わすなど、これまでの友好関係や今後の交流促進を確認し、また、11 月には、両県省のこれまで 30 年にわたる交流の積み重ねが、日中間の自治体交流モデルとして高く評価されたことにより、中国対外友好協会から、モデル友好都市として表彰されました。

2018 年(平成 30 年) 8 月には、日中平和友好条約締結 40 周年を記念して、知事を団長とする友好代表団を派遣し、経済・貿易や観光の分野の交流促進、人的及び文化交流の推進を内容とする、「交流と協力の深化に関する覚書」を締結しました。

2019 年(平成 31 年) 4 月には、遼寧省との経済・貿易の情報交流を強化することを目的として、新たに経済・貿易連絡員が富山県国際課に配置されました。

2020 年(令和 2 年) 5 月には、日本と外国の自治体の姉妹自治体提携等に基づく活動のうち、創意と工夫に富んだ取組みを行っている団体として、友好県省締結 35 周年を迎えた本県と遼寧省との友好交流の取組みが、総務省と(一財)自治体国際化協会が実施する、第 14 回自治体国際交流表彰(総務大臣賞)を受賞しました。

③ 遼寧省の概要

〈面積〉 約 14.8 万 km^2 (富山県の約 35 倍)

〈人口〉 4259.14 万人 (富山県の約 42 倍) ※2020 年末現在

〈省長〉 李 楽成 (2021 年 1 月～)

〈民族〉 漢族のほか、満族、モンゴル族、回族、朝鮮族、シボ族など 51 の少数民族が存在します。

〈地勢〉 中国東北地方の南部に位置し、南は黄海、渤海に臨み、南西は河北省と、北西は内蒙古自治区、北東は吉林省、南東は鴨緑江を隔てて北朝鮮と境を接しています。

〈気候〉 温帯湿潤・半湿潤モンスーン気候に属し、四季の区別が明確です。省政府所在地である瀋陽市の 1 月の平均気温は -7.7°C 、7 月の平均気温は 25.9°C で、年間降水量は 873.8mm で、6～8 月に雨が集中します。日照時間は年間 2,400 時間以上です。

〈産業〉 農業は、トウモロコシや水稻等の穀物の生産が中心に行われ、近年野菜の生産も盛んになっています。

工業は、鉄鋼、石油化学、冶金、設備関連の製造等の重工業が発達しています。近年、工業ロボット、バイオ製薬、電子商取引等の振興産業の育成や、生産型サービス業の発展を促進しています。また、鉄鉱石、石炭などの天然資源に恵まれています。

中央政府が打ち出した「東北振興政策」戦略のもと、中国(遼寧)自由貿易試験区を設立する等、外資の導入により対外開放の拡大を進めていくこととなっています。



〈GRP〉 30,209.4 億元 (2023 年)

GRP : Gross Regional Product 域内総生産

日本国富山県と中華人民共和国遼寧省との 友好県省締結協定書

日本国富山県と中華人民共和国遼寧省は、多年にわたる友好交流の基礎の上に、日中共同声明と日中平和友好条約の原則に基づき、両県省の相互理解と友誼を増進し、繁栄と発展を促進するため、協議の結果、正式に友好県省の締結を決定した。

双方は、経済、貿易、科学技術、文化、体育など各分野の広範な交流を通じて、絶えず両県省の間の友好協力関係を強めることを取り決めた。

双方は、これらの交流活動を通じて、日中両国民の子々孫々にわたる永遠の友好と平和に貢献することを誓うものである。

この協定書は、知事と省長が署名した日から効力を生ずる。日本文と中国文は、共に同等の効力を有する。

1984年5月9日

日本国富山県

知事

中 沖 豊

中華人民共和国遼寧省

省長

金 杉 仁

中华人民共和国辽宁省和日本国富山県

結为友好省县协议书

中华人民共和国辽宁省和日本国富山県、在多年友好交往的基础上，根据中日联合声明和中日和平友好条约的原则，为增进两省县的相互了解和友谊，促进两地区的繁荣昌盛，经过协商，决定正式结为友好省县。

双方商定，通过经济、贸易、科学技术、文化、体育等各个领域广泛的交流，不断加强两省县间的友好合作。

双方通过上述的交流活动，誓为中日两国人民世代代的永远的友好和平做出贡献。

本协议自双方省长和知事签字之日起生效。
中、日文本具有同等效力。

中华人民共和国辽宁省

日本国富山県

省长 金杉仁

知事

中 沖 豊

一九八四年五月九日

日本国富山県と中華人民共和国遼寧省の 互恵協力と共同発展のための協定書

日本国富山県と中華人民共和国遼寧省とは、1984年5月9日に友好関係を締結して以来、双方の共同努力により、これまでの25年にわたる幅広い分野において活発な交流と協力を展開し、日中両国の自治体交流のモデルと評価されるまでにいたっている。

こうした交流と協力の積み重ねは、両県の相互理解を促進し、友好関係をより強固にするとともに、日中両国の友好関係の増進、さらにはアジア太平洋地域の平和と発展に寄与してきた。

富山県と遼寧省は、友好関係締結25周年を契機として、さらに以下のとおり幅広い分野での交流を促進し、両県の友好並びに互恵協力と共同発展の実現のために、共通認識に達し、協定書に署名する。

1. 空港、港湾等の交流基盤の整備充実

- ・友好交流や経済交流の一層の発展のため、航空路線や定期航路の充実、双方の空港・港湾機能の拡充が図られるよう努めること
- ・友好港、友好空港の交流を進めること

2. 経済、貿易、観光分野の交流推進

- ・企業・民間による経済交流の一層の発展を図るため、展示商談会の開催や各種情報の提供などの支援を行うこと
- ・相互に観光客が増加するよう、観光説明会の開催や観光事業者の交流などに努めること

3. 教育、芸術・文化、スポーツ分野の交流推進

- ・学校間の交流や高校生の訪問など、教育分野での交流を進めること
- ・芸術祭の開催や芸術訪問団の派遣など、芸術・文化分野の交流を進めること
- ・環日本海インターハイの開催など、スポーツ分野の交流を進めること

4. 環境、科学技術、人材育成分野の交流推進

- ・黄砂の共同観測や専門家、青少年の派遣など、環境分野の交流を進めること
- ・産学官の共同研究など、科学技術分野の交流を進めること
- ・職員交流や留学生、研修生など、人材育成分野の交流を進めること

この協定書は日中両国語で記載し、双方の代表が署名後、それぞれ各一部を持つ。

2009年5月17日

日本国富山県

知事

中華人民共和国遼寧省

省長

石井隆一 陳はる

中华人民共和国辽宁省・日本国富山県 关于互恵合作与共同发展的协议书

中华人民共和国辽宁省与日本国富山県于1984年5月9日缔结友好省县关系，25年来，在双方的共同努力下，在广泛领域开展了活跃的交流与合作，成为中日两国地方政府友好交流的典范。

通过不断的交流与合作，两省县相互理解，巩固友好关系，并为增进中日两国友好关系的发展，为亚太地区的和平与发展做出了积极贡献。

辽宁省与富山県以缔结友好省县关系25周年为契机，就进一步促进广泛领域的交流，实现两省县友好及互恵合作、共同发展，达成共识，并签署协议书。

一、扩充机场、港湾等交流基础设施的功能

为确保友好交流、经贸合作顺利开展，双方积极支持航空路线和定期航线的运营，扩充双方机场和港口功能；

推进友好港口、友好机场的交流。

二、推进经贸、观光领域的交流

为进一步发展以企业、民间为主的经贸交流，为展览会洽谈会给予支持，并提供各种必要信息；

为增加观光游客，召开观光说明会，并加强旅游领域项目负责人的交流。

三、推进教育、文化、艺术、体育领域的交流

通过学校间交流和高中生互访，推进教育领域的交流；

通过举行艺术节和派遣艺术团体的访问，推进艺术文化领域的交流；

通过举办东北亚地区高中生友好体育交流大会，推进体育领域的交流。

四、推进环保、科技、人才培养领域的交流

通过共同观测沙尘状况、派遣专家、青少年等，推进环保领域的交流；

通过企业、大学、政府等部门的共同研究，推进科技领域的交流；

通过职员交流、留学生、研修生等派遣，推进人才培养领域的交流。

该协议书由中、日文书就，双方代表签字后，各持一份。

中华人民共和国辽宁省

省长

日本国富山県

知事

陳はる 石井隆一

2009年5月17日

日本国富山県と中華人民共和国遼寧省の
交流・協力関係の深化のための協定書

日本国富山県と中華人民共和国遼寧省とは、1984年5月9日に友好
県省を締結して以来、経済、観光、教育、芸術・文化、スポーツ、環境、
人材育成など幅広い分野において活発な交流と協力を展開して、大きな成
果を挙げってきた。

富山県と遼寧省は、友好県省締結30周年を契機とし、これからの交流
と協力を見据えて、両県省の友好関係の一層の深化と両地域の繁栄、発展
の実現のために、以下の分野において共通認識に達した。

1. 経済、観光分野の交流推進
 - ・企業・民間による経済交流の一層の発展を図るため、展示商談会の開催や各種
情報の提供などの支援を行うこと
 - ・相互に観光客が増加するよう、観光説明会の開催や観光事業者の交流などに努
めること
2. 空港、港湾等の交流基盤
 - ・友好交流や経済交流の一層の発展のため、航空路線や定期航路の充実、双方の
空港・港湾施設の拡充が図られるよう努めること
 - ・友好港、友好空港の交流を進めること
3. 人的・文化の交流推進
 - ・学校間の交流や高校生・大学生の訪問など、教育分野での交流を進めること
 - ・芸術祭の開催や芸術訪問団の派遣など、芸術・文化分野の交流を進めること
 - ・環日本海インタナバーハイの開催など、スポーツ分野の交流を進めること
 - ・職員交流や留学生、研修生など、人材育成分野の交流を進めること
4. 国際環境協力の交流推進
 - ・大気汚染物質の調査・研究や専門家、青少年の派遣など、環境分野の交流を進め
ること
 - ・政府、企業、科学研究機関の共同協力を通じて、科学技術分野の交流を進める
こと

この協定書は日中国語で記載し、双方の代表が署名後、それぞれ各一
部を持つ。

2014年10月19日

日本国富山県

知事

石井隆一

省長

中華人民共和国遼寧省

唐都

中華人民共和国遼寧省和日本国富山県
深化交流合作协议书

中華人民共和国遼寧省と日本国富山県は、1984年5月9日締結友好省県
関係以来、在経済、観光、教育、文化、体育、環境、人力資源等諸領域
开展積極活発の交流与合作、取得了可喜成果。

以遼寧省と富山県締結友好省県30周年为契机、为进一步加深两省县的
友好关系、实现两地区的繁荣和发展、在以下领域达成共识。

1. 経済、観光領域交流活動方面
 - ・进一步推动企业和民间经济交流、双方继续为召开展览洽谈会和提
供各种相关信息给予支持与帮助。
 - ・进一步增加彼此旅客流量、双方共同举办旅游观光推介会、促进旅
游业界人士间的交流与沟通。
 - 2. 空港、海港等基础设施方面
 - ・进一步促进相互间友好与经济交流、双方共同为充实空中航线及海
上定期航线、完善两地空港、海港机能而努力。
 - ・促进友好海港、友好空港的交流活动。
 - 3. 人文交流方面
 - ・开展校际交流及高中生互访等活动、推进教育领域交流活动。
 - ・举办艺术节、派遣艺术团等、推进艺术文化领域交流与合作。
 - ・举办环日本海高中校际联袂等活动、推进体育领域交流。
 - ・开展职员交流、留学生、研修生等人力资源领域交流。
 - 4. 环保领域合作
 - ・通过开展调查和研究大气污染物质、派遣专家和青少年等活动、推
进环保领域交流与合作。
 - ・通过政府、企业、科研单位协同合作、推进科技领域交流与合作。

本协议以中日文两种语言书就，经双方签署后，各执一份保存。

中華人民共和国遼寧省

省長

唐都

日本国富山県

知事

石井隆一

2014年10月19日

中华人民共和国辽宁省与日本国富山县 深化友好交流与合作备忘录

日本国富山县と中華人民共和国遼寧省の 交流と協力の深化に関する覚書

日本国富山县と中華人民共和国遼寧省（以下「双方」という）は、1984年5月9日に友好県省を締結して以来、経済、貿易、教育、文化、観光、環境などの多くの分野で協力的な交流と協力を進めてきた。日中平和友好条約締結40周年に際し、双方は、交流と協力を継続するとともに、以下の分野において一層の交流と協力を深めることを合意する。

- 1、経済、貿易の分野での交流促進
・双方の製造業及びサービス業等の戦略的発展に向けて、展示商談会や投資セミナーの開催、企業ミッションの相互派遣や各種情報の提供などにより、経済交流の活性化に努めること。
- 2、観光・交流の促進
・観光説明会の実施や観光事業者の相互訪問などにより、双方の豊かな観光資源を紹介し、さらなる相互の観光促進に努めること。
・富山―大連便の利用促進と増便に向けて、双方はともに努力し続けることと、航空便が十分に利用されるようにすること。
- 3、人的及び文化交流の推進
・国際交流員の派遣、職員交換を通して、人的交流を強化すること。
・経済・貿易連絡員を相互配置し、経済・貿易の情報交流を強化すること。
・これまでの芸術祭の開催をはじめ、食や工芸を含めた相互の文化交流を深めること。

本覚書は2018年8月6日に遼寧省瀋陽市で調印し、日本語と中国語で作成し、双方が各1部を保管する。

日本国富山県知事

中華人民共和国遼寧省省長

石井隆一

趙一峯

中华人民共和国辽宁省省长

日本国富山县知事

趙一峯

石井隆一

中华人民共和国辽宁省与日本国富山县（以下称“双方”）

自 1984 年 5 月 9 日缔结友好省县关系以来，双方在经贸、教育、文化、旅游、环保等诸多领域开展了卓有成效的交流与合作。

以中日和平友好条约缔结 40 周年为契机，双方推进交流与合作，在以下重点领域进一步深化交流与合作。

一、加强经贸合作

聚焦双方制造业、服务业等产业，通过举办展示洽谈会、投资说明会、互派企业代表团、提供商贸信息等，促进经济交流的活力。

二、促进旅游及交流

1、通过举办观光推介会及旅游从业者互访等，相互介绍双方丰富的旅游资源，进一步推动旅游产业发展。

2、双方继续共同努力促进大连—富山航线增加航班并使航线得以充分利用。

三、推进人文交流

1、通过派遣国际交流员、互派职员等，加强人员交流。通过互设经贸联络员，加大经贸信息交流力度。

2、加深包括举办艺术节及饮食、工艺等在内的文化交流。

本备忘录于 2018 年 8 月 6 日在辽宁省沈阳市签署，中文版及日文版各 2 份，双方各保留 1 份。

日本国富山県と中華人民共和国遼寧省との
揮発性有機化合物（VOC）削減技術普及のための協力事業の実施に関する覚書

日本国富山県（以下「富山県」という。）と中華人民共和国遼寧省（以下「遼寧省」という。）とは、2018年度から実施する揮発性有機化合物（VOC）削減協力事業（以下「協力事業」という。）に関して、次のとおり覚書を交換する。

（目的）

第1条 富山県及び遼寧省は、大気汚染の防止や同地域住民の環境意識高揚に資するため、協力事業を実施し、相互に地域における環境協力を推進する。

（実施期間）

第2条 協力事業の実施期間は、2018年4月から2021年2月までとし、揮発性有機化合物（VOC）削減を主眼とする。なお、2021年3月以降の取組については、富山県と遼寧省が改めて協議するものとする。

（実施体制）

第3条 協力事業の主要実施機関は、富山県においては富山県環境科学センターとし、遼寧省においては遼寧省大気汚染防止コントロールセンターと大連市環境監測センターとする。

第4条 協力事業に係る連絡調整機関は、富山県においては同県から委託を受けた公益財団法人環日本海環境協力センターとし、遼寧省においては遼寧省環境保護科学技術と国際合作局とする。

（協力事業の内容等）

第5条 協力事業は、大気環境中の揮発性有機化合物（VOC）の削減を図るため、工場等への揮発性有機化合物（VOC）削減技術の普及及び人材育成を行うものとする。

第6条 協力事業の具体的な内容、実施方法及び役割分担等については、別添「富山県と遼寧省との揮発性有機化合物（VOC）削減技術普及のための協力事業全体計画」（以下「全体計画」という。）に於いて富山県と遼寧省が毎年協議する。

（役割分担及び経費負担）

第7条 富山県及び遼寧省は、協力事業の実施にあたっては、対等な協力関係のもと、全体計画に定める各自の役割分担について、各自が責任を持つものとする。

第8条 協力事業の実施に要する経費については、前項の役割分担に基づき、その実施の責めに任ずる者が負担するものとする。ただし、富山県は、独立行政法人国際協力機構（JICA）の支援の範囲で遼寧省が実施する協力事業に要する経費の一部を負担する。

（結果の取扱い及び公表）

第9条 協力事業で得られた結果は、富山県及び遼寧省の双方が共有するものとし、これを公表するときは、日本国および中華人民共和国の法律を遵守した上で、相手方の同意を得るものとする。

（報告書の作成及び公表）

第10条 富山県及び遼寧省は、実施期間内の年度ごとに事業の実施状況を取りまとめた年次報告書を作成するものとする。また、実施期間が終了したときは、双方協議のうえ、速やかに協力事業の成果を取りまとめた全体報告書を作成する。なお、報告書の公表については、相手方の了解を得るものとする。

（協議）

第11条 この覚書に關し疑義が生じた事項又はこの覚書に定めのない事項については、必要に応じて双方協議のうえ定めるものとする。

この覚書の交換を証するため、本書を日本語及び中国語で各2通作成し、両首記名押印のうえ、各自各1通を保有するものとする。

2018年4月2日

日本国富山県
富山県知事 石井 隆



中華人民共和国辽宁省与日本国富山県
关于普及挥发性有机化合物（VOC）削减技术的协力事业的备忘录

中華人民共和国辽宁省（以下称「辽宁省」）与日本国富山県（以下称「富山県」）就2018年度开始开展的挥发性有机化合物（VOC）削减的协力事业（以下称「协力事业」）交换以下备忘录。

（目的）

第1条 辽宁省与富山県是为了防止大气污染，提高两地区居民的环境保护意识，开展协力事业，以推进环日本海地区的环境合作。

（开展期间）

第2条 协力事业的开展期间为2018年4月至2021年2月，事业领域为挥发性有机化合物（VOC）对策。2021年3月以后的工作内容由辽宁省与富山県再度协议商定。

（开展体制）

第3条 协力事业的主要开展机关，辽宁省方面为辽宁省大气污染防治管理中心和大连市环境监测中心，富山県方面为富山県环境科学中心。

第4条 协力事业的联络调整机关，辽宁省方面为辽宁省环境保护厅科技与国际合作处，富山県方面为富山県县委托的公益财团法人环日本海环境协力中心。

（协力事业的内容等）

第5条 协力事业旨在削减大气环境中的挥发性有机化合物（VOC），培养致力于工厂普及挥发性有机化合物（VOC）削减技术的人才。

第6条 协力事业的具体内容、实施方法及职责分担等，按照附件「辽宁省与富山県县间为普及挥发性有机化合物（VOC）削减技术的协力事业的总体计划」（以下称「总体计划」），在辽宁省与富山県县间每年进行协议。

（职责分担和经费负担）

第7条 辽宁省与富山県是开展协力事业，双方在平等合作关系下，就整体计划中规定的各自的职责分担，承担各自的责任。

第8条 关于开展协力事业的经费，根据前一项的职责分担，由负责调查该项工作的一方负担其所需经费。但富山県将在独立行政法人国际协力机构（JICA）的支援范围内负担辽宁省在开展协力事业时所需要的经费的一部分。

（结果的使用处理及公开）

第9条 在协力事业中得到的结果，为辽宁省与富山県是双方共有，公开这些结果时，在遵守中华人民共和国和日本法律的同时，需要得到对方的同意。

（报告书的创作和公布）

第10条 辽宁省与富山県是在开展协力事业期间内的每一个年度，将事业的开展情况进行汇总，制作成年度报告书。另外，在开展期间结束时，经双方协议后，迅速将协力事业的成果进行汇总，制作成整体报告书。关于报告书的公布，需要得到对方的认可。

（协议）

第11条 关于此备忘录，如有存在疑义的事项或者有此备忘录没有规定的事项，则根据需要在双方协议之后进行规定。

为了证明此备忘录的交换，将本文件用汉语和日语各制作两份，在双方签名盖章之后，各自保存各一份。

2018年4月2日

中华人民共和国辽宁省
环境保护厅 朱 颖



日本国伏木富山港と中華人民共和国

大連港との友好港提携協議書

日本国伏木富山港と中華人民共和国大連港は、両国民の伝統的な友誼を増進し、両国の貿易と海運事業の発展のために、友好港関係を樹立することに同意した。

両港は、友好交流を進めるため港湾の経営管理と技術的分野について交流を進めることを希望する。

両港は、友好港関係を永続的に発展させ、両国の友好協力関係の一層の増進に貢献することに同意した。

この協議書は、1985年5月8日、大連において調印し、調印の日から効力を生ずる。

この協議書は、日本文及び中国文で各2部作成し、共に同等の効力を有する。

日本国	中華人民共和国
富山県土木部	大連港口管理局
部長	代表

原嶋尚喜

兆福財

中华人民共和国大連港和日本国伏木富山港

关于建立友好港关系的协议

中华人民共和国大連港和日本国伏木富山港为增进两国人民的传统友谊,发展两国的贸易和海运事业,双方同意建立友好港关系。

为了进行友好交往,大連港和伏木富山港愿在港口经营管理和技术方面进行交流。

两港同意把友好港关系持久地发展下去,并为进一步增进两国的友谊和合作做出贡献。

本协议于一九八五年五月八日在大連签订,并自签字之日起生效,协议共两份,每份都用中文和日文写成,两种文本具有同等效力。

中华人民共和国	日本国
大連港口管理局	富山県土木部
代表	部長

兆福財

原嶋尚喜

富山県・遼寧省スポーツ相互交流に関する協定書

日本国富山県（以下「県」という。）及び中華人民共和国遼寧省（以下「省」という。）とは、友好県の締結10周年を記念して、1984年5月9日の富山県と遼寧省との友好関係締結の趣旨に基づきスポーツの相互交流を通して、富山県と遼寧省のスポーツの競技力向上とスポーツを通じた教育の充実を図ることを目的とし、スポーツ分野の交流に関し、次のとおり協定を締結する。

- 第1 県と省とは、スポーツ分野の指導者及び生徒を相互に派遣する。
 - 第2 派遣側は、派遣する指導者及び生徒の募集及び選考等派遣の準備を行うものとする。
 - 第3 受入側は、派遣される指導者及び生徒の語学指導及び生活指導等を行い、円滑な受入れに努めるものとする。
 - 第4 派遣及び受入れに係る費用負担については、相互主義の原則を尊重しながら、県と省が協議して決定するものとする。
 - 第5 この協定書によるスポーツ交流については、この協定書に定めるもののほか、県と省が別に協議して定める富山県と遼寧省との間のスポーツ相互交流実施要綱による。
- この協定の締結を証するため、日本国及び中国語の協定書をそれぞれ2通作成し、両省署名のうえ、双方が各1通を保有する。

1994年11月25日

日本国富山県教育委員会教育長 高 杉 信 朗

中華人民共和国遼寧省体育運動委員会副主任



辽宁省・富山县体育交流协议书

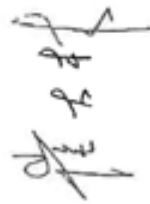
中华人民共和国辽宁省（下称“省方”）与日本国富山县（下称“县方”）为纪念友好省县缔结十周年，根据1984年5月9日辽宁省与富山县缔结的友好省县协议精神，为提高辽宁省和富山县的体育竞技水平并通过体育发展教育事业，双方就下述内容缔结协议。

- 第1 省方和县方互派体育指导者和学生。
- 第2 派遣单位负责对所派遣的指导者及学生的招收、选拔的准备工作。
- 第3 接收单位负责对所派遣的指导者及学生进行语言指导和生活指导，努力做到妥善接收。
- 第4 派遣及接收时发生的费用，在遵守相互负担费用原则的前提下，可由省方与县方协商决定。
- 第5 关于体育交流，除本协议书记载内容以外，还可依据省方与县方协定的辽宁省与富山县体育交流实施细则执行。

本协议书中文和日文书就，共两份，双方签字后各持一份。

1994年11月25日

中华人民共和国辽宁省体育运动委员会副主任



日本国富山县教育委员会教育长 高 杉 信 朗

令和5年度遼寧省との交流事業実績

所属名	事業名	事業内容	実施時期
生活環境文化部	国際交流員等の配置	国際交流事務の補助、国際交流活動への助言、語学指導等を行う遼寧省出身の中国語国際交流員を配置	R5. 5～R6. 3
生活環境文化部	経済・貿易連絡員の配置	中国遼寧省との「交流と協力の深化に関する覚書」に基づき、経済・貿易連絡員を1名配置	通年
生活環境文化部	松村謙三記念 富山県・遼寧省友好奨学金交付事業	遼寧省内の大学又は高校で日本語を学ぶ優秀な学生116名（大学生30名、高校生86名）に奨学金を交付	通年
生活環境文化部	第6回とやまこども舞台芸術祭	子どものための舞台公演や海外の子どもの絵画展を開催	R5. 8. 5～6
生活環境文化部	北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業	北東アジア地域の青少年を対象に、講演や意見交換、環境保全活動等を通じて、グローバルな視点で地域の環境保全に取り組む人材を育成（オンラインで実施）	R5. 8. 10
生活環境文化部	富山県職員派遣事業（遼寧省）	職員1名を派遣し、瀋陽師範大学で中国語を習得させるとともに、省政府機関及び関係団体等で両県省間の連絡調整を実施	R5. 9～R6. 3
生活環境文化部	県民芸術文化祭2023 総合フェスティバル	総合フェスティバルにおいて、海外の団体を招へいし、国際交流公演を行うとともに、海外のこどもの絵画等を展示する。	R5. 9. 16～18
商工労働部	T-Messe2023富山県ものづくり総合見本市開催事業	富山の誇るものづくり技術を広く国内外に発信するため、大規模な見本市を開催	R5. 10. 26～28
教育委員会	環日本海諸国交流推進事業	中国遼寧省図書館、韓国春川教育文化館と図書資料を交換	通年
教育委員会	友好県省等教育交流	中国遼寧省東北育才学校と富山中部高等学校が交流し、相互理解と友好を深める	通年
教育委員会	国際スポーツ交流事業費	中国遼寧省で開催された環日本海インターハイ親善交流大会へ選手団を派遣	R5. 8. 6～11
議会事務局	富山県議会議長の中国遼寧省訪問	遼寧省で開催される中日地方氷雪経済大会への出席及び遼寧省人民代表大会表敬訪問	R5. 12. 17～20

④遼寧省との人物交流一覧

◎遼寧省派遣職員及び留学生

年度	氏名	性別	受入機関等	派遣機関・留学科目	受入期間
H2	潘 曉 昇	男	県 学 術 国 際 課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	H 3. 1～H 4. 1
3	趙 軍 山	男	富 山 大 学 経 済 学 部	日 本 産 業 政 策 の 評 価	H 3. 4～H 4. 3
4	崔 勇	男	県 国 際 課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	H 4. 5～H 5. 5
5	陳 玉 石	男	富 山 国 際 大 学 人 文 学 部	国 際 関 係 論	H 5. 4～H 6. 4
6	李 向 榮	男	県 国 際 課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	H 6. 5～H 7. 5
7	于 毅	男	富 山 国 際 大 学 人 文 学 部	日 本 文 化 論 等	H 7. 4～H 8. 4
8	陳 曉 萌	女	県 国 際 課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	H 8. 4～H 9. 4
9	赫 艷 紅	女	富 山 大 学 教 育 学 部	日 本 語 及 び 日 本 語 教 育	H 9. 5～H10. 3
10	劉 長 貴	男	県 国 際 課	遼 寧 省 錦 州 市	H10. 5～H11. 3
11	易 震 球	男	富 山 大 学 経 済 学 部	経 済 学	H11. 4～H12. 3
12	王 希 為	女	県 国 際 課	遼 寧 省 朝 陽 市	H12. 4～H13. 3
13	孫 丹	女	富 山 大 学 経 済 学 部	経 済 学	H13. 4～H14. 3
14	馮 效 韞	女	富 山 大 学 経 済 学 部	経 済 学	H14. 5～H15. 3
15	王 正 東	男	富 山 大 学 経 済 学 部	経 済 学	H15. 4～H16. 3
16	張 明 珍	男	富 山 大 学 経 済 学 部	経 済 学	H16. 4～H17. 3
17	朱 英 双	女	富 山 大 学 経 済 学 部	経 済 学	H17. 4～H18. 3
19	宋 建 春	男	富 山 大 学 人 間 発 達 科 学 部	教 育 学	H19. 4～H20. 3
20	朱 佐 慶	男	富 山 大 学 医 学 部	医 学 （ 神 経 内 科 ）	H20. 4～H21. 3
21	赫 英 立	男	富 山 大 学 経 済 学 部	経 済 学	H21. 4～H22. 3
22	曲 丹	女	富 山 大 学 人 文 学 部	人 文 学	H22. 4～H23. 3
23	張 帥	男	富 山 大 学 人 文 学 部	日 本 語 及 び 日 本 文 学	H23. 4～H24. 3
24	馬 保 彪	男	富 山 大 学 人 文 学 部	日 本 語 及 び 日 本 文 化 論	H24. 4～H25. 3
25	朱 泊 霏	女	富 山 大 学 経 済 学 部	経 済 学	H25. 4～H26. 3
26	李 躍	女	富 山 大 学 人 間 発 達 科 学 部	教 育 学	H26. 4～H27. 3
27	高 振 家	男	富 山 大 学 医 学 部	医 学	H27. 4～H28. 3
28	那 宇 鵬	女	富 山 大 学 大 学 院 人 文 科 学 研 究 科	日 本 語 教 育 学	H28. 4～H29. 3
29	李 帥	女	富 山 大 学 大 学 院 人 文 科 学 研 究 科	日 本 語 教 育 学	H29. 4～H30. 3
30	孔 寧	女	富 山 大 学 大 学 院 人 文 科 学 研 究 科	日 本 語 及 び 日 本 文 化 論	H30. 4～H31. 3
R元	王 曉 丹	女	富 山 大 学 大 学 院 人 文 科 学 研 究 科	日 本 近 現 代 文 学	H31. 4～R 2. 3
R2	劉 麗	女	富 山 大 学 大 学 院 人 文 科 学 研 究 科	日 本 近 現 代 文 学	R 2. 4～R 2. 8 (5か月間) ※オンライン授業
R6	于 洋	女	富 山 大 学 人 文 学 部	日 本 近 現 代 史	R 6. 4～R 7. 3 (予定)

◎経済・貿易連絡員

年度	氏名	性別	所属	任用期間
R元～	孫 肖	女	国際課	H31. 4～

◎富山県派遣職員

年度	氏名	所属	派遣先	語学研修機関	派遣期間
S63	倉 嶋 清 吾	学 術 国 際 課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	遼 寧 大 学	S63. 9～H 2. 7 (約 2 年間)
H4	土 居 洋 子	国 際 課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	遼 寧 大 学	H 4. 9～H 5. 8 (1 年間)
5	竹 丸 譲	国 際 課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	遼 寧 大 学	H 5. 9～H 6. 8 (1 年間)
6	林 修 二	国 際 課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	遼 寧 大 学	H 6. 9～H 7. 8 (1 年間)
7	養 口 正 浩	国 際 課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	遼 寧 大 学	H 7. 9～H 8. 8 (1 年間)
8	石 田 文 弘	国 際 課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	遼 寧 大 学	H 8. 9～H 9. 8 (1 年間)
9	勝 山 誠 司 郎	国 際 課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	遼 寧 大 学	H 9. 9～H10. 8 (1 年間)
10	油 本 達 義	国 際 課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	瀋陽師範学院	H10. 9～H11. 8 (1 年間)
11	高 山 久	国 際 課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	瀋陽師範学院	H11. 9～H12. 8 (1 年間)
12	片 口 和 人	国 際 課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	瀋陽師範学院	H12. 9～H13. 8 (1 年間)
13	岩 城 弘 幸	国際・日本海政策課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	瀋陽師範大学	H13. 9～H14. 7 (11ヵ月間)
14	桐 正 光	国際・日本海政策課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	瀋陽師範大学	H14. 9～H15. 8 (1 年間)
15	宮 腰 享	国際・日本海政策課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	瀋陽師範大学	H15. 9～H16. 8 (1 年間)
16	松 下 愛 里	国際・日本海政策課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	瀋陽師範大学	H16. 9～H17. 8 (1 年間)
17	高 田 泉	国際・日本海政策課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	瀋陽師範大学	H17. 9～H18. 8 (1 年間)
18	寺 崎 浩 之	国際・日本海政策課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	遼 寧 大 学	H18. 9～H19. 8 (1 年間)
19	藤 井 孝 次	国際・日本海政策課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	遼 寧 大 学	H19. 9～H20. 8 (1 年間)
20	中 村 香 菜 恵	国際・日本海政策課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	遼 寧 大 学	H20. 9～H21. 8 (1 年間)
21	釣 奈 都 美	国際・日本海政策課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	遼 寧 大 学	H21. 9～H22. 8 (1 年間)
22	水 田 圭 一	国際・日本海政策課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	遼 寧 大 学	H22. 9～H23. 8 (1 年間)
23	大 井 徹 雄	国際・日本海政策課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	遼 寧 大 学	H23. 9～H24. 8 (1 年間)
24	高 野 早 苗	国際・日本海政策課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	遼 寧 大 学	H24. 9～H25. 8 (1 年間)
25	高 瀬 和 也	国際・日本海政策課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	遼 寧 大 学	H25. 9～H26. 7 (11ヵ月間)
26	後 藤 圭 佑	国際・日本海政策課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	遼 寧 大 学	H26. 9～H27. 8 (1 年間)
27	窪 田 孔 明	国 際 課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	遼 寧 大 学	H27. 9～H28. 8 (1 年間)
28	高 村 英 里	国 際 課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	瀋陽師範大学	H28. 9～H29. 8 (1 年間)
29	作 道 大 輔	国 際 課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	瀋陽師範大学	H29. 9～H30. 8 (1 年間)
30	森 麻 衣 子	国 際 課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	瀋陽師範大学	H30. 9～R元. 8 (1 年間)
R元	河 尻 歩 美	国 際 課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	瀋陽師範大学	R元. 9～R2. 8 (1 年間)
R2	川 上 や よ い	国 際 課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	瀋陽師範大学	R2. 9～R2. 12 (4 か月間) ※オンライン授業
R5	松 本 花 林	国 際 課	遼 寧 省 外 事 弁 公 室	瀋陽師範大学	R5. 9～R6. 8 (予 定)

◎富山県派遣日本語教師(文部科学省のR E X計画による。ただし26年度より県単独事業として派遣)

年度	氏名	所属	派遣先	派遣期間
H 8～ 9	吉 野 俊 哉	富 山 市 立 堀 川 中 学 校	東北育才学校	H 8. 8～H10. 2
H10～11	倉 橋 尚 子	高 志 養 護 学 校	東北育才学校	H10. 8～H12. 2
H12～13	中 野 徹 生	新 湊 高 校	東北育才学校	H12. 8～H14. 3
H14～16	酒 井 和 重	富 山 東 高 校	東北育才学校	H14. 8～H16. 6
H16～17	竹 林 和 美	小 杉 町 立 小 杉 南 中 学 校	東北育才学校	H16. 8～H18. 3
H18～19	中 田 知 子	高 岡 高 校	東北育才学校	H18. 8～H20. 3
H20～21	梅 木 愛	南 砺 総 合 高 等 学 校	東北育才学校	H20. 8～H22. 3
H22～23	石 井 仁	南 砺 総 合 高 等 学 校	東北育才学校	H22. 8～H24. 3
H24～25	川 上 徹	上 市 高 校	東北育才学校	H24. 8～H26. 3
H26～27	高 井 奈 央 子	上 市 高 校	東北育才学校	H26. 8～H28. 3

◎遼寧省理工系留学生

年度	氏名	性別	受入機関等	留学科目	受入期間
H6	寧 涛	男	富山県立大学大学院システム工学持論の応用	システム工学持論の応用	H 6.10～H 7. 7
"	趙 岩	男	富山県立大学大学院機械システム工学	機械システム工学	H 6.10～H 7. 7
7	孟 莉	女	富山県立大学大学院情報工学	情報工学	H 7. 9～H 8. 4
"	張 国 学	男	富山県立大学大学院液体力学	液体力学	H 7. 9～H 8. 4
8	周 福 才	男	富山県立大学大学院コンピュータ研究	コンピュータ研究	H 8. 7～H 9. 3
"	劉 心 毅	女	富山県立大学大学院構造法研究	構造法の研究	H 8. 7～H 9. 4
9	劉 萍	女	富山県立大学大学院計算機工学	計算機工学	H 9. 7～H10. 3
"	劉 晋 軍	男	富山県立大学大学院計算機応用	計算機応用	H 9. 7～H10. 3
10	李 陽	男	富山県立大学大学院機械力学	機械力学	H10. 5～H11. 3
"	張 寧 川	男	富山県立大学大学院液体力学	液体力学	H10. 5～H11. 3
11	王 宏 祥	男	富山県立大学大学院機械システム工学	機械システム工学	H11. 4～H11.12
"	劉 秀 英	女	富山県立大学大学院電子情報工学	電子情報工学	H11. 4～H11.12
12	牛 連 強	男	富山県立大学大学院電子情報工学	電子情報工学	H12. 5～H13. 3
"	金 哲 男	男	富山県立大学大学院生物工学	生物工学	H12. 5～H13. 3
13	楊 瑞 芹	女	富山県立大学大学院機械システム工学	機械システム工学	H13. 5～H14. 3
"	林 玲 実	女	富山県立大学大学院機械システム工学	機械システム工学	H13. 5～H14. 3
14	畢 繼 国	男	富山県立大学大学院電子情報工学	電子情報工学	H14. 4～H15. 3
"	陳 曉 明	男	富山県立大学大学院電子情報工学	電子情報工学	H14. 4～H15. 3
15	于 曉 彩	女	富山県立大学大学院生物工学	生物工学	H15. 7～H16. 3
"	秦 兵	男	富山県立大学大学院電子情報工学	電子情報工学	H15. 7～H16. 3
16	何 玉 蘭	女	富山県立大学大学院電子情報工学	電子情報工学	H16. 7～H17. 3
"	孫 曉 瑜	女	富山県立大学大学院生物工学	生物工学	H16. 7～H17. 3
17	褚 嘉 宜	女	富山県立大学大学院生物工学	生物工学	H17. 5～H18. 3
18	王 智 友	男	富山県立大学大学院情報システム工学	情報システム工学	H18. 4～H19. 3
19	呂 軍 華	女	富山県立大学大学院知能デザイン工学	知能デザイン工学	H19. 4～H20. 3
20	朱 杉	女	富山県立大学大学院情報通信ネットワーク性能	情報通信ネットワーク性能	H20. 4～H21. 3
21	李 文 沢	男	富山県立大学大学院知能デザイン工学	知能デザイン工学	H21. 4～H22. 3
22	畢 佳 奇	男	富山県立大学大学院知能デザイン工学	知能デザイン工学	H22. 4～H23. 3

年度	氏名	性別	受入機関等	留学科目	受入期間
23	周 韬	男	富山県立大学大学院 工学大研究科	生 物 工 学	H23. 4～H24. 3
24	陳 静 乙	女	富山県立大学大学院 工学大研究科	生 物 工 学	H24. 4～H25. 3
25	華 正 罡	男	富山県立大学大学院 工学大研究科	環 境 工 学	H25. 4～H26. 3
26	周 波	男	富山県立大学大学院 工学大研究科	情 報 シ ス テ ム 工 学	H26. 4～H27. 3
27	蔡 振 宇	男	富山県立大学大学院 工学大研究科	情 報 シ ス テ ム 工 学	H27. 4～H28. 3
28	李 明 澤	女	富山県立大学大学院 工学大研究科	知 能 デ ザ イ ン 工 学	H28. 4～H29. 3
29	鄧 昕 暘	女	富山県立大学大学院 工学大研究科	生 物 工 学	H29. 4～H30. 3
30	劉 夢	女	富山県立大学大学院 工学大研究科	環 境 工 学	H30. 4～H31. 3
R元	徐 英 杰	男	富山県立大学大学院 電子・情報工学科	電 子 ・ 情 報 工 学	H31. 4～R2. 3

◎協力交流研修員（１８名）

年度	氏名	性別	研修機関	研修科目	研修期間
H9	翟 琳	女	県 環 境 科 学 セ ン タ ー	環 境 保 全	H 9. 6～H10. 3
10	王 仁 科	男	県 環 境 政 策 課 (県 環 境 科 学 セ ン タ ー)	環 境 保 全	H 9. 6～H10. 3
18	連 彦 偉	女	県 観 光 課	観 光	H18. 6～H18.11
	閻 齊	男	県 国 際 ・ 日 本 海 政 策 課	国 際 交 流	H18. 6～H18.11
	姜 璐	女	(財) 富 山 県 新 世 紀 産 業 機 構 環 日 本 海 経 済 交 流 セ ン タ ー	経 済 交 流	H18. 6～H18.11
19	張 潔	女	県 衛 生 研 究 所	公 衆 衛 生	H19. 6～H19.11
20	劉 暢	女	(財) 環 日 本 海 環 境 協 力 セ ン タ ー	環 境	H20. 6～H20.11
	曲 俊 華	女	(財) 富 山 県 新 世 紀 産 業 機 構 環 日 本 海 経 済 交 流 セ ン タ ー	経 済 交 流	H20. 6～H20.11
21	鄒 洪 濤	男	富 山 県 農 林 水 産 総 合 技 術 セ ン タ ー 農 業 研 究 所 (国) 富 山 大 学 極 東 一 地 域 研 究 セ ン タ ー	農 業	H21. 6～H21.11
	劉 蘭 嵐	女	(財) 環 日 本 海 環 境 協 力 セ ン タ ー	環 境	H21. 6～H21.11
22	安 淑 一	女	県 衛 生 研 究 所	公 衆 衛 生	H22. 6～H22.11
	杜 航	女	高 岡 市 役 所	水 処 理 ・ 環 境	H22. 6～H22.11
23	王 作 鱸	男	県 衛 生 研 究 所	公 衆 衛 生	H23. 6～H23.11
	宋 閻	男	(財) 環 日 本 海 環 境 協 力 セ ン タ ー 石 崎 産 業 (株)	環 境	H23. 6～H23.11
24	李 延 昇	男	県 衛 生 研 究 所	公 衆 衛 生	H24. 6～H24.11
	杜 玉 虎	男	県 農 林 水 産 総 合 技 術 セ ン タ ー 園 芸 研 究 所	果 樹 ・ 園 芸	H24. 6～H24.11
27	回 智 光	男	富 山 情 報 ビ ジ ネ ス 専 門 学 校	日 本 語 教 育	H27. 6～H27.11
	張 肖 冰	男	県 衛 生 研 究 所	微 生 物 検 査	

◎医学研究員（２４名）

年度	氏名	性別	研修機関	研修科目	研修期間
S62	斎 文	男	県 立 中 央 病 院	新 生 児 関 係	S62. 9～S63.12 (3 か月間)
63	張 玉 文	男	県 立 中 央 病 院	胸 部 外 科	S63. 9～S63.12 (3 か月間)
H元	岳 麗 華	女	県 立 中 央 病 院	口 腔 外 科	H元. 9～H元.12 (3 か月間)
2	王 明 驥	男	県 立 中 央 病 院	脳 神 経 科	H 2.11～H 3. 3 (5 か月間)
4	毛 文 珍	女	県 立 中 央 病 院	循 環 器 内 科	H 4. 7～H 5. 1 (6 か月間)
5	劉 福 仁	女	県 立 中 央 病 院	看 護 学	H 5.10～H 6. 3 (5 か月間)
6～7	徐 宝 寧	男	県 立 中 央 病 院	胸 部 外 科	H 6. 2～H 7. 8 (6 か月間)
8	趙 穎 軍	女	県 立 中 央 病 院	循 環 器 内 科 疾 病 診 断	H 8.11～H 9. 4 (6 か月間)
9	陳 穎	女	県 立 中 央 病 院	卵 巢 癌 の 早 期 診 断 と そ の 手 術 及 び 化 学 療 法	H 9.11～H10. 4 (6 か月間)
10	羅 義	男	県 立 中 央 病 院	呼 吸 器 内 科	H10. 9～H11. 2 (6 か月間)
11	董 新	男	県 立 中 央 病 院	整 形 外 科	H11. 9～H12. 3 (6 か月間)
12	劉 会	男	県 立 中 央 病 院	脳 神 経 外 科	H12. 9～H13. 3 (6 か月間)
13	張 志 強	男	県 立 中 央 病 院	外 科	H13.10～H14. 3 (5 か月間)
14	王 春	女	県 立 中 央 病 院	呼 吸 器 内 科	H14.10～H15. 3 (5 か月間)
16	張 笑 娟	女	県 立 中 央 病 院	腎 臓 内 科	H16. 9～H17. 3 (6 か月間)

年度	氏名	性別	研修機関	研修科目	研修期間
17	易 巍	男	県立中央病院	外科	H17.12～H18.3 (3か月間)
18	李 立	男	県立中央病院	外科	H18.12～H19.3 (4か月間)
19	徐 巍	女	県立中央病院	看護学	H19.11～H20.3 (5か月間)
20	張 睿	女	県立中央病院	呼吸器内科	H20.11～H21.3 (4か月間)
21	王 笑 焯	男	県立中央病院	内分泌・代謝内科	H22.3～22.4 (1か月間)
22	姚 遠	男	県立中央病院	消化科	H23.2～23.4 (2か月間)
24	譚 永 峰	男	県立中央病院	救命救急センター科	H24.4～24.6 (2か月間)
25	宋 竹 茵	女	県立中央病院	神経内科	H25.3～25.6 (3か月間)
26	崔 建 春	男	県立中央病院	外科	H26.4～26.7 (3か月間)

◎海外技術研修員

年度	氏名	性別	研修機関	研修科目	研修期間
S58	解 谷 声 義	男	県繊維工業試験場	按ブラスチック	S58.10～S59.3 (6か月間)
59	孫 曉 麗	女	県工業事業研究所	製ブラスチック	S59.7～S60.3 (9か月間)
60	王 君 煥	男	県工業事業研究所	環境保護	S60.10～S61.3 (6か月間)
61	荆 治 嚴	男	県公害センター	環境保護	S61.8～S62.3 (8か月間)
62	陳 穎 森	女	県公害事業研究所	化学繊維	S62.9～S63.3 (7か月間)
63	王 克 明	男	県工業技術センター	化学繊維	S63.6～H元.3 (10か月間)
H元	韓 增 文	男	県工業技術センター	廃水処理	H元.6～H2.3 (10か月間)
2	馬 勇 剛	男	県公害センター	環境保護	H2.9～H3.3 (7か月間)
3	孫 作 平	男	県工業技術センター	塗料応用	H3.7～H4.3 (9か月間)
4	趙 震 良	男	県工業技術センター	金属品質検査	H4.7～H5.3 (9か月間)
5	徐 本 志	男	県公害センター	工業コンピュータ	H5.6～H6.3 (10か月間)
6	周 曙 光	男	県工業技術センター	染色・捺染整理	H6.7～H7.3 (9か月間)
7	趙 海 嘯	男	県工業技術センター	機械加工技術	H7.6～H8.3 (10か月間)
8	劉 剛 英	男	県工業技術センター	溶解接合技術	H8.6～H9.3 (10か月間)
9	趙 顯 輝	男	県工業技術センター	機械設備関係	H9.1～H9.3 (3か月間)
10	範 明 生	男	県工業技術センター	旋盤及び職業学校管理	H9.6～H10.3 (7か月間)
11	周 旭 加	男	県工業技術センター	コンピュータシステム開発	H10.6～H11.3 (10か月間)
12	王 曉 東	男	県工業技術センター	公害対策（大気汚染）	H11.6～H12.1 (8か月間)
13	段 衛 民	男	県工業技術センター	プラスチック成型	H12.6～H13.1 (8か月間)
14	尹 淑 萍	女	県工業技術センター	コンピュータ（マルチメディアソフトの開発）	H13.6～H14.1 (8か月間)
15	田 広 元	男	県工業技術センター	環境保全	H15.8～H16.1 (6か月間)
16	張 相 国	男	県工業技術センター	コンピュータ	H16.6～H17.12 (6か月間)
17	黄 海 文	男	県工業技術センター	環境保全	H17.7～H18.3 (3か月間)
18	梁 良 本	男	県工業技術センター	環境保全	H18.12～H19.3 (4か月間)
19	徐 本 良	男	県工業技術センター	環境保全	H19.11～H20.3 (5か月間)
20	閔 載 衛	男	県工業技術センター	環境保全	H20.11～H21.3 (4か月間)
21	田 之 光	男	県工業技術センター	環境保全	H21.3～H22.4 (1か月間)
22	紀 曉 東	男	県工業技術センター	環境保全	H22.4～H23.2 (2か月間)
23	趙 立 影	男	県工業技術センター	環境保全	H23.2～H24.4 (1か月間)
24	張 茵	女	県工業技術センター	環境保全	H24.4～H25.3 (3か月間)
25	韓 麗 傑	女	県工業技術センター	環境保全	H25.3～H26.4 (3か月間)
26	宋 麗 春	女	県工業技術センター	環境保全	H26.4～H27.1 (6か月間)
27	包 馮 江	男	県工業技術センター	環境保全	H27.1～H28.1 (6か月間)
28	馮 海 偉	男	県工業技術センター	環境保全	H28.1～H29.1 (6か月間)
29	海 尹 飛	男	県工業技術センター	環境保全	H29.1～H30.1 (6か月間)
30	姜 先 泉	男	県工業技術センター	環境保全	H30.1～H31.1 (6か月間)
31	雷 穎 穎	女	県工業技術センター	環境保全	H31.1～H32.1 (6か月間)

年度	氏名	性別	研修機関	研修科目	研修期間
25	楊 璐 李 茜	女 女	富山情報ビジネス専門学校 (株)ニュージャパントラベル	日 本 語 教 育 国 際 観 光	H25. 8～11 (3か月間)
26	李 雄 勇 梁 田	男 女	県 環 境 科 学 セ ン タ ー (公財) 環 日 本 海 環 境 協 力 セ ン タ ー (株) ア イ ザ ッ ク 富山情報ビジネス専門学校	環 境 日 本 語 教 育	H26. 6～11 (5か月間)
28	王 瑞 楠 呉 占 軍	男 男	国 際 課 富山情報ビジネス専門学校	国 際 交 流 日 本 語 教 育	H28. 6～11 (5か月間)
29	許 琳 琳 胡 森	女 女	(公財) 富山県新世紀産業機構 富山情報ビジネス専門学校	国 際 交 流 日 本 語 教 育	H29. 6～11 (5か月間) H29. 6～8 (3か月間)
30	王 健 劉 金 鑫	女 男	県 国 際 課 富山情報ビジネス専門学校	国 際 交 流 日 本 語 教 育	H30. 6～11 (5か月間) H30. 6～11 (5か月間)
R元	趙 剛 楊 維 炎	男 男	(公財) 富山県新世紀産業機構 (公財) 富山県新世紀産業機構	国 際 交 流 国 際 交 流	R元. 6～11 (5か月間) R元. 6～11 (5か月間)

◎繊維技術研修員（1名）

年度	氏名	性別	研修機関	研修科目	研修期間
H5	劉 愛 蓮	女	県 工 業 技 術 セ ン タ ー 繊 維 研 究 所	野 蚕 糸 ニ ッ ト 編 地 の 開 発 研 究	H 5. 10～H 5. 12 (2か月間)

◎農業技術研究者（27名）

年度	氏名	性別	派遣(受入)機関	研究テーマ	研究期間
S61	田 守 健 夫 山 元 尹 男	男 男	遼寧省農業科学院 稲 作 研 究 所	ハイブリッド稲、系統育種・栽培関連研究	S61. 7～S61. 8 (1か月間)
62	劉 政 国 劉 国 煌	男 男	県農業技術センター 農 業 試 験 場	米の品質判定方法と品種改良研究	S62. 11～S62. 12 (1か月間)
63	石原 信一郎 川 口 祐 男	男 男	遼寧省アルカリ地 利 用 研 究 所	ハイブリッド稲に関する共同研究	S63. 7～S63. 8 (1か月間)
H元	呉 一 才 黄 仁 珠	男 男	県農業技術センター 農 業 試 験 場	米の品質検定方法と良質多収、 耐病性品種の育成	H元. 9～H10. 1 (1か月間)
2	林 征 三 金 田 宏	男 男	遼寧省農業科学院 稲 作 研 究 所	ハイブリッド稲に関する共同研究	H 2. 7～H 2. 9 (1か月間)
3	李 玉 福 閔 連 峰	男 男	県農業技術センター 農 業 試 験 場	米の品質検定方法と良質 多収、耐病性品種の育成	H 3. 8～H 3. 9 (1か月間)
4	成瀬 博行 山 田 信 明	男 男	遼寧省農業科学院 植 物 保 護 研 究 所 遼寧省農業科学院 土 壤 肥 料 研 究 所	生物学的病害虫防除技術 及び有用微生物の探索 土壌肥料科学的手法による低投入生産技術	H 4. 7～H 4. 8 (1か月間)
5	高 秀 蘭 孫 富 渝	女 男	県農業技術センター 農 業 試 験 場	水稻 ①化学肥料の施肥法に関する共同研究 ②農作物病害虫の生態解明と防除技術の確 立に関する共同研究	H 5. 7～H 5. 8 (1か月間)
6	川 上 義 昭 新 田 朗	男 男	遼寧省農業科学院 植 物 保 護 研 究 所 遼寧省農業科学院 土 壤 肥 料 研 究 所	生物学的病害虫防除技術 及び有用微生物の探索 土壌肥料科学的手法による低投入生産技術	H 6. 7～H 6. 8 (1か月間)
9	陳 国 鏞 馬 惠 盛 武 敏	男 男 男	県農業技術センター 果 樹 試 験 場	果樹に関する栽培設備及び管理について	H 9. 5～H 9. 6 (1か月間)
10	中 島 實 高 口 宗 範 平 野 司	男 男 男	遼寧省農業科学院 瀋 陽 農 業 大 学	果樹生産技術等を中心とした技術交流	H10. 9 (1か月間)
11	李 生 泰 楊 鳳 先 張 偉 春	男 男 男	県農業技術センター 野 菜 花 き 試 験 場	野菜生産技術等を中心とした技術交流	H11. 6 (1か月間)

◎林業技術研修員（４名）

年度	氏名	性別	研修機関	研修科目	研修期間
H2	原 戈 曹 力男	男 男	県林業技術センター 林業試験場	特用材産物 (しいたけ栽培)	H 2. 9～H 2. 12 (４か月間)
4	張 俊信 康 樹宣	男 男	県林業技術センター 木材試験場	特用材産物 (しいたけ栽培)	H 4. 8～H 4. 9 (１か月間)

◎農業技術研修員（６２名）

年度	級	氏名	性別	研修機関	研修科目	研修期間
S58	初 級	王 俊生	男	(河 合 茂)	養 豚	S58. 8～S58. 11 (３か月間)
		馬 徳洲	男	(畠 山 俊雄)	果 樹	
		孟 慶	男	(永 原 省三)	野 菜	
59	初 級	李 占輝	男	(藤 岡 宗隆)	野 菜	S59. 7～S59. 10 (３か月間)
		荆 亜夫	男	(福 島 行雄)	野 菜	
		王 健群	男	(高 田 定吉)	水 稲	
	中 級	向 明林	男	(中 嶋 正男)	野 菜	S59. 8～S59. 11 (３か月間)
		韓 喜	男	(金 森 善弘)	養 豚	
60	初 級	姜 峰人	男	県 畜 産 業 試 験 場	畜 産	S60. 7～S60. 9 (２か月間)
		吳 吉	男	県 入 善 農 業 改 良 普 及 所	水 稲	
		李 秀平	男	県 黒 部 農 業 改 良 普 及 所	水 稲	
	中 級	趙 守利	男	県 富 山 農 業 改 良 普 及 所	水 稲	S60. 7～S60. 9 (1.5か月間)
		張 士喜	男	県 婦 中 農 業 改 良 普 及 所	水 稲	
61	初 級	葉 玉忠	男	県 農 業 試 験 場	水 稲	S61. 7～S61. 10 (３か月間)
		車 龍旭	男	県 果 樹 試 験 場	果 樹	
		崔 鳳林	男	県 黒 部 農 業 改 良 普 及 所	水 稲	
	中 級	曲 国君	男	県 砺 波 農 業 改 良 普 及 所	水 稲	S61. 7～S61. 10 (1.5か月間)
		高 芳青	男	県 小 杉 農 業 改 良 普 及 所	水 稲	

年度	級	氏名	性別	研修機関	研修科目	研修期間
62	初 級	劉 春 祥	男	県 上 市 農 業 改 良 普 及 所	野 菜	S62. 7～S62. 11 (5 か月間)
	初 級	苗 雨 佳	男	県 入 善 農 業 改 良 普 及 所	水 稻	
	中 級	李 延 生	男	県 東 部 家 畜 保 健 衛 生 所	水 稻	S62. 7～S62. 10 (10 か月間)
63	初 級	王 亭 山	男	県 城 端 農 業 改 良 普 及 所	野 菜	S63. 6～S63. 10 (4 か月間)
	初 級	鄧 元	男	県 氷 見 農 業 改 良 普 及 所	野 菜	
	初 級	陳 志 明	男	県 小 矢 部 農 業 改 良 普 及 所	畜 産	
H元	初 級	陳 鳳 群	男	県 東 部 家 畜 保 健 衛 生 所	野 菜	H元. 7～H元. 12 (5 か月間)
	中 級	劉 福 才	男	県 農 業 試 験 場	水 稻	H元. 7～H元. 10 (3 か月間)
	中 級	姜 峯	男	県 畜 産 試 験 場	畜 産	
2	初 級	熊 宝 君	男	県 小 杉 農 業 改 良 普 及 所	水 稻	H 2. 8～H 2. 12 (5 か月間)
	初 級	李 洪 明	男	県 婦 中 農 業 改 良 普 及 所	水 稻	
	中 級	李 延 生	男	県 農 業 試 験 場	水 稻	H 2. 8～H 2. 11 (3 か月間)
3	初 級	洪 印 秋	男	県 高 岡 農 業 改 良 普 及 所	水 稻	H 3. 6～H 3. 11 (5 か月間)
	初 級	梁 玉 柱	男	県 砺 波 農 業 改 良 普 及 所	水 稻	
	中 級	趙 奎 華	男	県 農 業 試 験 場	病 害 虫	H 3. 6～H 3. 9 (3 か月間)
4	初 級	劉 庚 彦	男	県 黒 部 農 業 改 良 普 及 所	果 樹 栽 培	H 4. 6～H 4. 11 (5 か月間)
	初 級	馬 宏 君	男	県 上 市 農 業 改 良 普 及 所	水 稻	
	中 級	曲 国 平	男	県 農 業 技 術 セ ン タ ー 野 菜 花 き 試 験 場	野 菜 の 生 産 技 術	H 4. 6～H 4. 9 (3 か月間)
5	初 級	梁 輝	男	県 富 山 農 業 改 良 普 及 所	果 樹	H 5. 6～H 5. 11 (5 か月間)
	初 級	李 涛	男	県 氷 見 農 業 改 良 普 及 所	水 稻	
	中 級	陳 健	男	県 農 業 技 術 セ ン タ ー 農 業 試 験 場	水 稻	H 5. 6～H 5. 9 (3 か月間)
6	初 級	王 福 端	男	県 入 善 農 業 改 良 普 及 所	野 菜	H 6. 6～H 6. 9 (3 か月間)
	初 級			県 小 杉 農 業 改 良 普 及 所	野 菜	
	中 級	王 端 伸	男	県 農 業 技 術 セ ン タ ー 野 菜 花 き 試 験 場	野 菜	H 6. 6～H 6. 9 (3 か月間)
7	初 級	路 承 偉	男	県 高 岡 農 業 改 良 普 及 所	野 菜	H 7. 8～H 7. 10 (3 か月間)
	初 級	李 長 山	男	県 砺 波 農 業 改 良 普 及 所	野 菜	
	中 級	白 金 友	男	県 農 業 技 術 セ ン タ ー 果 樹 試 験 場	果 樹	H 7. 8～H 7. 10 (3 か月間)
8	初 級	呉 躍 民	男	県 農 業 改 良 普 及 セ ン タ ー	水 稻	H 8. 8～H 8. 10 (3 か月間)
	初 級	劉 軍	男	県 農 業 改 良 普 及 セ ン タ ー	野 菜	
	中 級	趙 義 平	男	県 農 業 技 術 セ ン タ ー 野 菜 花 き 試 験 場	野 菜	H 8. 8～H 8. 10 (3 か月間)
9	初 級	張 忠 旭	男	県 砺 波 農 業 改 良 普 及 セ ン タ ー	水 稻	H 9. 8～H 9. 11 (3 か月間)
	初 級	高 煥 勇	男	県 高 岡 農 業 改 良 普 及 セ ン タ ー	水 稻	
	中 級	李 曄	男	県 農 業 技 術 セ ン タ ー 野 菜 花 き 試 験 場	野 菜	H 9. 8～H 9. 11 (3 か月間)
10	初 級	柴 宝 華	男	県 新 川 農 業 改 良 普 及 セ ン タ ー	野 菜	H10. 7～H10. 9 (3 か月間)
	初 級	孫 繼 文	男	県 富 山 農 業 改 良 普 及 セ ン タ ー	水 稻	
	中 級	劉 忠 義	男	県 農 業 技 術 セ ン タ ー 野 菜 花 き 試 験 場	花 き	H10. 7～H10. 9 (3 か月間)
11	初 級	盧 野	男	県 砺 波 農 業 改 良 普 及 セ ン タ ー	水 稻	H11. 7～H11. 9 (3 か月間)
	初 級			県 農 業 技 術 セ ン タ ー 果 樹 試 験 場	果 樹	
	中 級	魏 永 祥	男	県 農 業 技 術 セ ン タ ー 果 樹 試 験 場	果 樹	H11. 7～H11. 9 (3 か月間)
12	初 級	蔡 偉	男	県 高 岡 農 業 改 良 普 及 セ ン タ ー	水 稻	H12. 7～H12. 9 (3 か月間)
	初 級			県 農 業 技 術 セ ン タ ー 野 菜 花 き 試 験 場	野 菜	
	中 級	潘 向 群	男	県 農 業 技 術 セ ン タ ー 野 菜 花 き 試 験 場	野 菜	H12. 7～H12. 9 (3 か月間)
13	JICA 研 修 員	孫 凌 群	男	県 農 業 技 術 セ ン タ ー 果 樹 花 き 試 験 場	果 樹	H13. 7～H13. 10 (3 か月間)

◎水産技術研修員（８名）

年度	氏名	性別	研修機関	研修科目	研修期間
S61	高 緒生 石 天彦	男男	県 裁 培 漁 業 セ ン タ ー	あ わ び の 増 養 殖	S61. 9～S61. 11 (2 か月間)
63	劉 吉明 張 英江	男男	県 裁 培 漁 業 セ ン タ ー	さ ざ え の 増 養 殖	S63. 9～S63. 11 (2 か月間)
H4	唐 樹棟	男	か ね 七 (株)	水 産 加 工 技 術	H 4. 8～H 5. 1 (6 か月間)
9	劉 学光	男	県 裁 培 漁 業 セ ン タ ー	ひ ら め、さ ざ え の 増 養 殖	H 9. 5～H 9. 8 (3 か月間)
10	董 澤江	男	県 裁 培 漁 業 セ ン タ ー	マ ダ イ 等 種 苗 生 産 技 術	H10. 5～H10. 8 (4 か月間)
11	林 軍	男	県 裁 培 漁 業 セ ン タ ー	ク ル マ エ ビ 種 苗 生 産 技 術	H11. 6～H11. 9 (4 か月間)

◎都市計画研修員（１名）

年度	氏名	性別	研修機関	研修科目	研修期間
H3	趙 忠剛	男	県 都 市 計 画 課	都 市 計 画、 建 築 住 宅 行 政	H 3. 6～H 3. 11 (6 か月間)

◎港湾技術研修員（１５名）

年度	氏名	性別	研修機関	研修科目	研修期間
S62	蘇 盛源 邵 作斌	男男	県 港 湾 課	港 湾 計 画 港 湾 管 理	S62. 11～S63. 2 (3 か月間)
63	金 銀實 高 桂香	男男	県 港 湾 課	港 湾 計 画 港 湾 管 理	S63. 12～H元. 3 (3 か月間)
H元	袁 福秀 王 長芳 顧 兆禄 胡 広盛	男男男男	県 港 湾 課	港 湾 計 画 港 湾 管 理	H元. 7～H元. 8 (1 か月間)
3	于 淑敏 楊 光 彭 秀珍 温 淑荣	女女女女	県 港 湾 課	港 湾 計 画 港 湾 管 理	H 3. 9 (1 か月間)
8	雷 鳴 丁 勝余 胡 広盛	男男男	県 港 湾 課	港 湾 計 画 港 湾 管 理	H 8. 11 ～H 8. 12 (1 か月間)

◎スポーツ交流員及び就学生（１２名）

年度	氏名	性別	学校(指導)機関	指導内容	受入期間
H6	交 流 員 郭 金 鳳	男	高 岡 商 業 高 校	陸 上	H 6. 11～H 7. 5 (6 か月間)
7～8	交 流 員 郭 洪	男	高 岡 商 業 高 校	陸 上	H 7. 11～H 8. 10 (1 年間)
6～8	就 学 生 李 曉 静 李 華	女女	高 岡 商 業 高 校 高 岡 商 業 高 校	(就 学 生) (就 学 生)	H 6. 11～H 9. 3 (2 年 4 か月間)
9～11	交 流 員 陳 忠 良	男	富 山 商 業 高 校	陸 上	H 9. 4～H11. 3 (2 年間)
9～10	就 学 生 劉 紅 艷 許 立 紅	女女女	富 山 商 業 高 校 富 山 商 業 高 校	(就 学 生) (就 学 生)	H 9. 4～H11. 3 (2 年間)
11～13	就 学 生 李 永 紅 王 迪	女女女	富 山 商 業 高 校 富 山 商 業 高 校	(就 学 生) (就 学 生)	H11. 4～H14. 3 (3 年間)
14～15	就 学 生 任 嵐	女	富 山 商 業 高 校	(就 学 生)	H14. 4～H15. 8 (1 年間 5 か月間)
14～16	就 学 生 劉 金 久	女	富 山 商 業 高 校	(就 学 生)	H14. 4～H17. 3 (3 年間)
16～18	就 学 生 王 聰	女	富 山 商 業 高 校	(就 学 生)	H16. 8～H19. 3 (2 年 8 か月間)

(2) 上海市との交流

① 上海市との交流の経緯

2005 年（平成 17 年）11 月、知事が上海を訪問し、龔 学平（きょう がくへい）上海市人民代表大会常務委员会主任と会談した際、富山ー上海便の就航を契機として、経済、文化、教育等の分野において双方が交流を推進していくことが合意されました。

② 上海市との交流の広がり

人材交流の面では、2006 年（平成 18 年）9 月から本県の職員を派遣するとともに、2007 年（平成 19 年）4 月からは、上海市より国際交流員を受け入れています。

また、中国経済を牽引する上海市には、県内から多くの企業が進出しています。

2013 年（平成 25 年）11 月には、富山県立図書館と上海図書館との間で協定が結ばれ、2014 年（平成 26 年）3 月に県立図書館内に上海図書館からの寄贈図書『上海の窓』コーナーが開設されるなど、交流が広がっています。

③ 上海市の概要

〈面積〉 6,340.5 k m² （富山県の約 1.5 倍）

〈人口〉 2,487.45 万人 （富山県の約 24 倍） ※2023 年末現在

〈市長〉 龔 正（2020 年 7 月～）

〈民族〉 漢族が全人口の 99%を占めています。

〈地勢〉 江蘇省・浙江省に隣接し、長江河口と杭州湾に南北を挟まれ、東シナ海に突き出す長江デルタの沖積平原上に位置しています。平均海拔は約 4 m。江南の水郷地帯に属し、域内を大小の河川が縦横に交錯しています。また、長江河口部の島嶼も管轄し、崇明島（中国第 3 位の面積をもつ島）など多くの島を域内に抱えます。

〈気候〉 気候は亜熱帯海洋性気候に属し、四季がはっきりしています。夏は高温多湿、冬は寒さが厳しく乾燥します。年間平均気温 17.3 度、年降水量 1409.1 ミリ、年日照時間 1,626 時間。

〈産業〉 2023 年の G R P を産業別に見ると、第一次産業が 96.09 億元、第二次産業が 11,612.97 億元、第三次産業が 35,509.60 億元で第二次産業、第三次産業の比率が高くなっています。第二次産業のうち工業総産値ベースでは電子情報製品、自動車、石油化学・精密化学工業、プラント設備が高い割合を占めています。第三次産業においては、金額ベースで卸売・小売、金融、不動産が上位を占めています。



〈GRP〉 47,128.66 億元（2023 年）

GRP : Gross Regional Product 域内総生産

④令和5年度上海市との交流事業実績

◎県関係事業

部 局	事 業 名	内 容	時期(期間)
生活 環境 文化 部	中国語国際交流員(上海市)の配置	国際交流事務の補助、国際交流活動への助言、語学指導等を行う上海市出身の国際交流員1名を配置。	R5.8～R6.3

⑤上海市との人物交流一覧

◎上海市富山県派遣職員

年度	氏名	所属	派遣先	語学研修機関	派遣期間
H18, 19	宮 腰 享	国際・日本海政策課	上海市外事弁公室	上海交通大学	H18. 9～H20. 8 (2年間)
20	寺 崎 浩之	国際・日本海政策課	上海市外事弁公室	上海交通大学	H20. 9～H21. 8 (1年間)
21	中 村 香菜恵	国際・日本海政策課	上海市外事弁公室	上海交通大学	H21. 9～H22. 8 (1年間)
22, 23	釣 奈都美	国際・日本海政策課	上海市外事弁公室	上海交通大学	H22. 9～H24. 8 (2年間)
24	大 井 徹雄	国際・日本海政策課	上海市外事弁公室	上海交通大学	H24. 9～H25. 8 (1年間)
25	高 野 早苗	国際・日本海政策課	上海市外事弁公室	上海交通大学	H25. 9～H26. 7 (11か月間)
26	安カ川 仁海	国際・日本海政策課	上海市外事弁公室	上海交通大学	H26. 9～H27. 8 (1年間)
27	寺 田 知賀子	国 際 課	上海市外事弁公室	上海交通大学	H27. 8～H28. 8 (1年間)
28	窪 田 孔明	国 際 課	上海市外事弁公室	上海交通大学	H29. 2～H30. 2 (1年間)
R 元	作 道 大輔	国 際 課	(株) ジェック経営コンサルタント上海事務所		R 元. 9～R2. 8 (1年間)

(3) 雲南省との交流

① 雲南省との交流の経緯と広がり

1991年（平成3年）3月、民間交流の一環として雲南の植物贈呈を打診されたことが契機となり、富山県と雲南省との交流が始まりました。

1992年（平成4年）8月には、雲南省友好代表団が来県し、知事を表敬訪問しました。

その後、富山県と雲南省が実務協議を重ね、雲南植物と石林の石の導入に関する双方の合意が整い、中央植物園に「雲南コーナー」が作られるとともに、計画的な植物導入とこれに伴う栽培技術指導職員の派遣が行われることになりました。

1996年（平成8年）4月には、中央植物園の開園式に合わせ、中国雲南省友好訪日代表団が来県し、「富山県中央植物園と中国科学院昆明植物研究所との友好提携」が調印されました。2001年（平成13年）度から2019年（令和元年）度までに、21名の技術研修員を受け入れており、2023年（令和5年）からはとやま研修員として受入を継続しています。

② 雲南省の概要

〈面積〉 39.4万k㎡（日本の面積とほぼ同じ）

〈人口〉 4,673万人（富山県の約46倍） ※2023年末現在

〈省長〉 王予波（2021年1月～）

〈民族〉 少数民族自治区以外の省で少数民族が最も多い（省人口の約3分の1が少数民族）

〈地勢〉 中華人民共和国の最西南部に位置し、標高は80mから6,700mにわたります。ベトナム、ラオスと国境を接し、南部から西部にかけてミャンマーと接しています。北西部はチベット自治区、北部は四川省、北東部は貴州省、東部は広西チワン族自治区と接しています。石林、大理、シーサンパンナ、麗江等全国的に有名な観光地が多くあります。

〈気候〉 南部の低地と北部の高山地帯で気候が大きく異なり、多様な気候のため動植物の種類が豊富です。省都の昆明市は亜熱帯湿潤モンスーン気候に属し、四季を通じて春のような気候であることから「春城」とも呼ばれます。年間平均気温17.5度（最も暑い月（7月）では19度～22度、最も寒い月（1月）では6度～8度）、年降水量1,000ミリ以上（最も多い地域では2,200～2,700ミリ、最も少ない地域では584ミリ）、年日照時間2,200時間以上。

〈産業〉 生物資源開発産業（花卉、天然素材、バイオ化学、環境、健康食品等）、鉱物資源、タバコ産業、コーヒー産業、観光業が主たる産業です。

雲南省は、ベトナム、ラオス、ミャンマーと国境を接し、大メコン河流域（GMS）開発計画により、メコン河を利用した国際水運（中国—ラオス—ミャンマー—タイ）の客運が開



始されました。2005年7月に中国・ASEAN自由貿易協定（ACFTA）が発効したことにより、ASEANとの経済交流が急速に拡大し、近年は南アジアとの貿易も活発になっています。昆明—バンコク間的高速道路の整備も進んでおり、2021年12月には昆明—ラオス・ヴィエンチアンの間で開通しました。

〈GRP〉 30,021.12億元（2023年） GRP: Gross Regional Product 域内総生産

中国科学院昆明植物研究所
与日本国富山县中央植物园友好合作协定书

日本国富山县中央植物園と
中華人民共和国中国科学院昆明植物研究所との
友好提携に関する協定書

日本国富山県中央植物園と中華人民共和国中国科学院昆明植物研究所とは、日本国富山県
農林水産部と中華人民共和国雲南省科学技術委員会との「富山県中央植物園が第一次導入計
画により雲南の植物を移植する件」及び「富山県中央植物園が第二次導入計画により雲南の
植物を移植する件」に関する協力合意書に基づき、これまで雲南の植物の富山県中央植物園
への導入を図ってきたところであるが、今後さらに、日中兩國の友好関係を発展させ、植物
に関する學術交流を促進させるため、平等互恵の原則に立って友好関係を結ぶことを合意
し、ここに以下の協定を締結する。

第1条 双方は、植物に関する學術交流の実現のために次に掲げる事業を行うよう努力す
る。

- (1) 互いに、職員を派遣して、植物に関する調査研究業務等に従事させること。
- (2) 互いに、植物及び圖書資料の交流を図ること。
- (3) 互いに、協議し、同意を経て、その地の交流を図ること。

第2条 双方は、互いの社会制度、政治信条を尊重し、互いの法律及び関連規則を遵守す
る。

第3条 この協定は、必要が生じたときには、互いに協議し、及び同意を経て、改めること
ができる。

第4条 この協定は、日本語と中国語により作成し、それぞれ同等の効力を有するものとす
る。

第5条 この協定は、双方の代表者が署名したときから効力を生ずる。

1996年4月26日

日本国富山県中央植物園 中国科学院昆明植物研究所

園長 王川道

所長 許再富

中国科学院昆明植物研究所与日本国富山县中央
植物園，根据中华人民共和国云南省科学技术委员会与日本国富山县
农林水产部的“富山县中央植物園第一批引种计划云南植物移植项目”
及“富山县中央植物園第二批引种计划云南植物移植项目”有关的合
作协定书，至今为止开展了云南植物引种富山植物園的工作，为了今
后能够更进一步发展中日兩國の友好关系，促进有关植物的学术交流，
同意根据平等互利的原则，结成友好关系，在此基础上以下工作：

第一条 双方为实现与植物有关的学术交流而努力开展以下工作：

- (1) 互相派遣职员从事有关植物的调查研究工作。
- (2) 互相进行植物及有关图书资料的交流。
- (3) 在经过协商并互相同意的的基础上，也谋求进行其它方面
的交流。

第二条 双方互相尊重对方的社会制度、政治信条，遵守的法律
及有关规则。

第三条 本协定在必要时经双方协商同意可以进行修改。

第四条 本协定同时用中国语和日本语写成，具有同等的效力。

第五条 本协定经双方的代表者署名后方可生效。

1996年 4月 26日

中华人民共和国 日本国
中国科学院昆明植物研究所 富山县中央植物園

所長 許再富

園長 王川道

日本国富山県中央植物園と
中華人民共和国中国科学院昆明植物研究所との
共同研究に関する合意書

日本国富山県中央植物園と中華人民共和国中国科学院昆明植物研究所とは、友好提携に基づき、これまで雲南省の植物の富山県への導入を図ってきたが、今後さらに、日中両国の友好関係を発展させ、研究交流を促進させるため、互恵平等の原則に立って、以下の合意のもとに、雲南省の植物について共同研究を進めることに同意する。

第1条 雲南省の貴重植物（特に絶滅・絶滅危惧植物）について保全生物学的な調査・研究をする。

第2条 1期を2年とする5期10年を期限とする。

第3条 各期において研究対象とする植物は、主に、

第1期 ベゴニア属

第2期 マメ科

第3期 モクレン科

第4期 ツバキ科

第5期 サクラソウ科

第4条 富山県中央植物園と昆明植物研究所は、研究遂行のために相互に職員を派遣する。

第5条 派遣する職員は、それぞれ1年に1名、3ヶ月以内とする。

第6条 旅費は派遣側負担。滞在費は受入側負担とし、調査・研究費については富山県が負担することとする。

第7条 この共同研究による研究成果は、互いに享受することができる。

第8条 双方は、互いの社会制度、政治情勢を尊重し、互いの法律及び関連規則を遵守する。

第9条 この協定は、必要が生じたときには、互いに協議し、及び同意を経て、改めることができる。

第10条 この協定は、日本語と中国語により作成し、それぞれ同等の効力を有するものとする。

第11条 この協定は、双方の代表者が署名したときから効力を生ずる。

日本国

中華人民共和国

富山県中央植物園

中国科学院昆明植物研究所

園長 黒川道

所长 郭

2000年10月13日

2000年10月13日

中華人民共和国中国科学院昆明植物研究所
与日本国富山県中央植物園合作研究协议书

中華人民共和国中国科学院昆明植物研究所与日本国富山県中央植物園进行了友好合作，并把云南省的植物引入到了富山县。为了发展中日两国的友好关系，促进研究交流，双方同意在平等互惠原则的基础上，继续进行云南植物的合作研究。

第1条 对云南省重要植物类群，特别是珍稀濒危植物进行以保护生物学研究为主要内容的科学研究。

第2条 合作研究期限每期2年，共5期10年。

第3条 各期的主要研究对象为：

第1期 秋海棠属

第2期 豆科

第3期 木兰科

第4期 茶科

第5期 报春花科

第4条 昆明植物研究所与富山県中央植物園将互派研究人员进行合作研究。

第5条 每年各派一名研究人员，期限三个月以内。

第6条 互派人员的旅费由派遣方负担，逗留费由接受方负担，调查研究费用由富山県负担，与本协议相关的研究成果，由双方共同分享。

第7条 双方互相尊重对方的社会制度、政治信仰，遵守双方的法律及有关政策。

第8条 本协议在必要时经协议双方协商同意，可以进行修改和补充。

第9条 本协议用中文和日文写成，两种文本具有同等效力。

第10条 本协议经双方代表签署后生效。

中華人民共和国

日本国

中国科学院昆明植物研究所

富山県中央植物園

所长 郭

园长 黒川道

2000年10月13日

2000年10月13日

②令和５年度 雲南省との交流事業実績

所属名	事業名	事業内容	実施時期
生活環境 文化部	海外研修員とやま魅力体験 事業	中国・雲南省よりとやま研修員を受入れ	R5. 7～11

③雲南省との人物交流一覧

◎海外技術研修員

年度	氏名	性別	研修機関	研修科目	研修期間
H13	鄭 兵	男	県 環 境 科 学 セ ン タ ー	環 境 保 護	H13. 6～H14. 1 (8 か月間)
14	汪 小 紅 張 銳	女 男	県 立 中 央 病 院 県 環 境 科 学 セ ン タ ー	看 護 環 境	H14. 6～H15. 1 (8 か月間)
15	陳 斌 楊 潔	男 女	富 山 医 科 薬 科 大 学 〃	バイオ・テクノロジー 和 漢 薬	H15. 8～H16. 1 (6 か月間)
16	董 曉 唐 宗	男 男	県 中 央 植 物 園 県 花 総 合 セ ン タ ー	植 物 栽 培 花 卉 栽 培	H16. 6～H16. 11 (6 か月間)
17	楊 樺	男	富 山 医 科 薬 科 大 学	泌 尿 器 外 科	H17. 7～H17. 12 (6 か月間)
19	張 富 剛	男	富 山 大 学 大 学 院 医 学 薬 学 研 究 部	泌 尿 器 科	H19. 9～H19. 9 (1 か月間)
20	尹 竹 萍	女	富 山 大 学 大 学 院 医 学 薬 学 研 究 部	看 護	H20. 8～H20. 11 (3 か月間)
21	王 向 栄	男	富 山 市 上 下 水 道 局	水 処 理 技 術	H21. 8～H21. 11 (3 か月間)
22	蘇 友 波	男	県 薬 事 研 究 所	和 漢 薬	H22. 8～H22. 11 (3 か月間)
23	李 楠	女	新 富 観 光 サ ー ビ ス (株)	国 際 観 光	H23. 8～H23. 11 (3 か月間)
24	孫 雄 燕	女	新 富 観 光 サ ー ビ ス (株)	国 際 観 光	H24. 8～H24. 11 (3 か月間)
25	朱 芹	女	県 農 林 水 産 総 合 技 術 セ ン タ ー 園 芸 研 究 所	農 業	H25. 8～H25. 11 (3 か月間)
26	周 香	女	立 山 黒 部 貫 光 (株)	観 光	H26. 8～H26. 11 (3 か月間)
27	王 毅	男	(株) P C O	国 際 交 流	H27. 8～11 (3 か月間)
28	張 蔚	女	ト ヤ マ ・ ヤ ポ ニ カ	日 本 語 教 育	H28. 8～11 (3 か月間)
29	白 蕊	女	ト ヤ マ ・ ヤ ポ ニ カ	日 本 語 教 育	H29. 8～11 (3 か月間)
30	汪 芸	男	ト ヤ マ ・ ヤ ポ ニ カ	日 本 語 教 育	H30. 8～11 (3 か月間)
R元	劉 俊 傑	女	ト ヤ マ ・ ヤ ポ ニ カ	日 本 語 教 育	R元. 8～11 (3 か月間)
4	孫 定 標	男	富 山 情 報 ビ ジ ネ ス 専 門 学 校	日 本 語 教 育	R4. 10～12 (3 か月間)

◎とやま研修員

年度	氏名	性別	研修機関	研修科目	研修期間
R5	張 新 艷	女	県 観 光 振 興 室	観 光	R5. 7～11 (5 か月間)

◎協力交流研修員

年度	氏名	性別	研修機関	研修科目	研修期間
H18	海 波	女	(財) 環 日 本 海 環 境 協 力 セ ン タ ー	環 境	H18. 6～H18. 11 (6 か月間)

(4) 広東省との交流

① 広東省との交流の経緯と広がり

2010 年（平成 22 年）5 月、知事が広東省を訪問し、黄 華華（こう かか）広東省長等と会見したほか、会見後に戸高観光・地域振興局長と楊旅游局長が、今後の両県省間の観光協力・交流を約する協定を締結したことから交流が始まりました。

広東省は、訪日団体観光の盛んな地域で、今後の交流の深化が期待されます。

② 広東省の概要

〈面積〉 179,700 k m²（富山県の約 42 倍）

〈人口〉 12,656.8 万人（富山県の約 126 倍）※2022 年末現在の常住人口

〈省長〉 王 偉中（2022 年 4 月～）

〈民族〉 漢族が全人口の 99%を占めています。

〈地勢〉 中国南部の南シナ海沿岸に位置しています。北は福建省、江西省、湖南省と接し、西は広西チワン族自治区と接しています。また、南西に、かつて広東省の一部だった海南省があります。省の南には香港、マカオの両特別行政区が存在し、香港との境界に深圳経済特区を、マカオとの境界に珠海経済特区を有しています。

〈気候〉 気候は、サバナ気候から温暖湿潤気候への移行部に当たる温帯夏雨気候で、夏に高温多湿、冬に温暖少雨となります。年間平均気温は 22.3℃で、年平均降水量は 1,801.7mm です。

〈産業〉 深圳、珠海の経済特区を有する広東省は、経済的に非常に裕福な省で、省レベルの GDP が全国 1 位となっています。産業別に見ると、第一次産業が 5,540.70 億元（4.1%）、第二次産業が 54,437.26 億元（40.1%）、第三次産業が 75,695.21 億元（55.8%）で第二次産業、第三次産業の比率が高くなっています。業種としては電子・電機産業、自動車産業、金融、サービス業、観光・レジャー業の発展が重点とされています。



〈GRP〉 135,673.16 億元（2023 年）

GRP : Gross Regional Product 域内総生産

日本国富山県と中華人民共和国広東省との間の 観光協力・交流協定書

日本国富山県と中華人民共和国広東省との間の経済貿易、文化、観光等の分野における交流は活発である。富山県の企業が広東省に進出しているほか、2008年には、初めて、広東省の企業が富山県で開催している北東アジア経済交流エキスポ等の経済貿易交流活動に参加した。

富山県と広東省の観光協力・交流を一層深めることは、両県省の相互理解と友好を促進し、双方の協力関係を発展させるとともに、日中両国の友好関係を増進させるものである。富山県と広東省は、国際価値の高い豊富な観光資源に恵まれており、観光市場の共同発展のための明るい未来及び高い潜在能力を有している。

富山県と広東省は、観光協力・交流を強化し、双方の友好協力関係を促進するため、友好的な協議を経て、平等な協議、互惠互利を基礎として、以下の協定に合意する。

- 1 双方の観光分野における協力・交流を強化し、連絡調整のメカニズムを設立する。
- 2 双方が主催する観光博覧会や観光説明会などの観光宣伝活動に参加し、双方の観光業の発展を促進させる。
- 3 より開放的な事業運営環境の整備に向けて努力し、観光事業者間の相互交流を支援する。
- 4 観光業界やメディアの視察団を組織し、相互訪問や交流を行い、双方の観光市場のニーズに合わせた旅行商品を企画・造成し、双方の観光誘客を促進させる。
- 5 双方の観光情報の交流を強化し、観光ホームページの連携や情報交換を促進し、相互に住民の海外旅行先として重点的に普及を図る。
- 6 双方の観光交流・協力の窓口は、富山県観光・地域振興局観光課と広東省旅游局市場開発処とする。
- 7 前1号から6号及び記載のない事項を実施するにあたっては、具体的な内容、方法等について、事前協議を行うものとする。

この協定書は2010年5月10日に広東省広州市において締結し、日本語及び中国語で作成し、それぞれ各1部を保有する。

日本国富山県観光・地域振興局
局長

戸高 秀史

中華人民共和国広東省旅游局
局長

楊 萍 萍